

2021年7月6日～4日

世論調査 (JNN＝詳細続報)、東京都議選結果・野党共闘志位発言  
安住発言・論評・政局、麻生発言・米軍・自衛隊、都議選社説

## JNN世論調査、支持率42.7%と上昇 五輪「無観客」が最多に

JNN2021年7月5日 1時15分

最新のJNNの世論調査で、菅内閣の支持率が42.7%と3か月ぶりに上昇に転じたことがわかりました。

菅内閣を支持できるという人は先月の調査結果より3.7ポイント増えて42.7%と、今年4月以来3か月ぶりに上昇しました。支持できないという人は54.3%でした。

新型コロナウイルスの感染防止に向けた政府のこれまでの取り組みについて聞いたところ、「評価する」は38%、「評価しない」は51%でした。東京に出されているまん延防止等重点措置について「解除すべきだ」と答えた人は13%だったのに対して、「延長すべきだ」は76%に達しました。また、酒類を提供する店舗への規制については「厳しすぎる」が24%、「適当だ」が50%、「緩すぎる」が21%と評価が割れています。

ワクチン接種について聞きました。「接種したい」、「もう接種した」と答えた人はあわせて86%に達しました。副反応については「非常に心配だ」「ある程度心配だ」があわせて57%、「あまり心配ではない」「まったく心配ではない」はあわせて42%でした。また、男性よりも女性のほうが心配する割合が高くなっています。職場接種の新規申し込みが一時停止となっていることについては、「納得できる」が37%に対し「納得できない」が54%でした。

今年夏に予定される東京オリンピック・パラリンピックについてどうすべきか聞いたところ、「無観客で開催すべきだ」が35%と、もっとも多くなりました。「観客数を制限して開催すべきだ」は26%、「中止すべきだ」が20%、「延期すべきだ」は14%でした。一方で、オリンピックに向けた政府の水際対策については79%の人が「十分だと思わない」と回答しています。

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

都議選勝利を力に総選挙での躍進を 共産19都議勢ぞろい  
新宿 志位委員長訴え



(写真) 声援にこたえる当選した19人の都議、衆院比例東京ブロック予定候補5氏と志位と夫委員長(右から5人目)、小池晃書記局長(右端)＝5日、東京・新宿駅西口

「五輪か命か」がするどく問われた4日投開票の東京都議選から一夜明けた5日、日本共産党は東京・新宿駅西口で、志位と夫委員長をはじめ当選した19人の新都議が勢ぞろいし緊急街頭演説を行いました。志位氏は選挙結果を報告し、「五輪中止」を断固として訴えた日本共産党が前進し、「五輪の中止・延期」を

公約した立憲民主党が議席を伸ばしたことは、「今夏の五輪はやるべきではない」という都民の民意を示した」と強調。「菅政権、小池都政に、この都民の審判を重く受け止めることを強く求めます。一刻も猶予はない。直ちに五輪を中止し、コロナ収束にあらゆる力を集中することを強く求めます」と力を込めました。

文字通りの大激戦を制した19人の都議一人ひとりを司会の小池晃書記局長が紹介。それぞれが決意を語るたびに声援が沸き起こりました。

志位氏は、19議席に前進し、都議会野党第1党を維持した結果を「大きな勝利です」と報告。「女性議員数で都議会第1党になったこともご報告します」と語りました。

都議選で日本共産党は「五輪より命を大切に政治を」「五輪は中止として、コロナ収束に全力を」と訴えたことを振り返り、「この訴えには都民のみなさんから強い共感が寄せられました」と強調。「いま政治がやるべきは、『コロナ封じ込め』を戦略目標にすえ政治が責任を果たすことだ」として、ワクチンの迅速接種と一体で大規模検査を実施することなど「コロナから命と暮らしを守るための公約の実践に全力をあげる」と表明しました。

都議選で掲げた都政の「四つのチェンジ」―(1)都立・公社病院の独法化反対(2)大企業の応援優先の都政から福祉・暮らし第一の都政への転換(3)ジェンダー平等、個人の尊厳を大切に東京の実現(4)米軍の横暴勝手をやめさせ、平和な東京を―の一つ一つに強い共感と支持が寄せられたと報告。「公約の実践に力を尽くします。力を合わせて、安心して希望をもてる東京をつくりましょう」と呼びかけました。

志位氏は、自民・公明が自ら掲げた「都議会過半数」を得られなかったことについて、3国政補選・再選挙(4月25日)に続く菅自公政権への大打撃であり、「国民の声に一切耳を傾けようとしない政治に対する深い怒りが表れたものです」と強調しました。

一方、1人区、2人区、3人区での勝利など野党共闘が重要な成果をあげたと紹介。「野党の選挙協力は、相互の議席を増やしていくことにつながり、自民党を追い詰める大きな力を発揮しました。互いに支援し合うとりくみのなかで信頼関係も広がったことは大変うれしいことです」と述べ、「この成果を総選挙での市民と野党の共闘の発展の力にし、成功に生かしていきたい」と力を込めました。

最後に志位氏は、都議選の成果と教訓を生かして、総選挙での躍進のために全力をあげると決意表明。市民と野党の共闘を成功させ、国民の声が生きる新しい政権―野党連合政権をつくるために力を合わせることを呼びかけました。

次期総選挙を比例東京ブロック予定候補としてたかかう笠井亮、宮本徹(東京20区重複)の両衆院議員、池内さおり(同12区重複)、谷川智行(同4区重複)、坂井和歌子の各予定候補がそれぞれ決意表明しました。

しんぶん赤旗 2021年7月5日(月)

東京都議選 共産19議席に前進し勝利 定数2の日野・文京で新議席 自公過半数届かず

東京五輪を中止して新型コロナ対策に集中し、都民の命と暮らしを守る都政に転換できるかどうか問われた東京都議選(定数

127)が4日投開票されました。日本共産党は2人区の日野と文京で新議席を獲得するなど、現有18議席から19議席へ前進し、勝利しました。前回の歴史的惨敗の回復をめざした自民党は公明党と合わせて過半数確保を狙いましたが届かず、菅自公政権への都民の批判が示されました。



(写真) 支持者と初当選を喜びあう清水とし子さん (中央) = 4日、東京都日野市



(写真) 当選確実の報道に湧く福手ゆう子氏と支援者 = 4日、東京都文京区



(写真) 尾崎あや子氏 (中央) の3選を喜び、万歳する支援者ら = 4日、東京都東村山市



(写真) 支援者とともに当選を喜ぶ原のり子氏 (中央) = 4日、東京都東久留米市



(写真) 応援をうけた立憲民主・新社会党北区議や市民、池内さおり党前衆院議員と当選を喜びあう、そねはじめ氏 (中央) = 4日、東京都北区



(写真) 喜びを爆発させる米倉春奈氏 (前列左から3人目) ら = 4日、東京都豊島区

共産党は2人区で3氏が当選。前回215票差で惜敗した福手ゆう子氏 (文京区)、市民と野党の共同候補である清水とし子氏 (日野市) が新たな議席を獲得しました。原のり子氏 (北多摩4区) が再選しました。

3人区では、そねはじめ氏 (北区) が7選、米倉春奈氏 (豊島区) と尾崎あや子氏 (北多摩1区) が3選しました。

4人区では大山とも子氏 (新宿区) が8選、あぜ上三和子氏 (江東区) が4選、和泉なおみ氏 (葛飾区) が3選、池川友一氏 (町田市) が再選しました。

新人の原純子氏 (江戸川区)、アオヤギ有希子氏 (八王子市) が新旧交代に成功しました。

とくとめ道信氏 (板橋区)、里吉ゆみ氏 (世田谷区) が3選。斉藤まりこ氏 (足立区)、原田あきら氏 (杉並区)、とや英津子 (練馬区)、藤田りょうこ氏 (大田区) が再選しました。

伊藤大気氏 (墨田区) は及びませんでした。

都議選には42選挙区に271人が立候補。各党は今秋までに行われる総選挙の前哨戦として、党幹部・国会議員を投入し、激しい選挙戦となりました。

日本共産党は「五輪より命を大切にする政治を」と訴え、都民の共感を大きく広げました。都政については「四つのチェンジ」を掲げてたたかいました。また、市民と野党の共闘を成功させ、共産党躍進で総選挙での政権交代の流れをつくろうと訴えました。

午前0時10分時点で自民党は29議席、公明党は20議席、都民ファーストは30議席となっています。

午後7時半の推定投票率は28・41% (前回比マイナス7・47ポイント)、期日前投票は有権者の12・4%の142万5192人。

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

### 野党共闘で重要な成果 都議選で大きな力発揮

#### ■都議選の党派別当選者数

	計	候補者数	改選時	前回当選
共産	19	31	18	19
自民	33	60	25	23
公明	23	23	23	23
都ファ	31	47	45	49
立民	15	28	8	—
ネット	1	3	1	1
維新	1	13	1	1
その他	0	36	0	5
無所属	4	30	5	6
計	127	271	126	127

その他は諸派、れいわ、国民。  
その他の前回当選者は、民進の当選者数。

野党の共闘は東京都議選で大きな成果を上げました。日本共産党が立憲民主党や無党派の幅広い市民などから支援を受けて5選挙区 (文京区、豊島区、北区、日野市、北多摩4区) で勝利しました。一方、7選挙区 (渋谷区、中野区、立川市、武蔵野市、小金井市、小平市、北多摩2区) では、日本共産党が支援・推薦した立憲民主党などの候補が当選しました。

日野市 (定数2) では、市民と野党の共同候補としてたたかった日本共産党の清水登志子氏が当選。前回 (2017年) から得票数を4925票、得票率を12・65ポイント増やし、自民党の現職に競り勝ちました。文京区 (定数2) では、前回215票差で惜敗した福手裕子氏が共闘の輪を広げ、得票数4033票増、得票率7・93ポイント増となり、自民の現職に勝利しました。北多摩4区 (定数2) の原紀子氏も他党の議員や幅広い市民からの支援を受け、2265票増、10・43ポイント増でトップ当選を果たしました。

日本共産党の米倉春奈氏 (豊島区・定数3)、曾根肇氏 (北区・定数3) も、市民と野党の共同代表として現有議席を守り抜きました。

1人区でも共闘の力で議席を勝ち取りました。武蔵野市では、日本共産党の小池晃書記局長が応援に入った立憲民主党の五十嵐衣里氏が初当選。19年の参院比例票と比べると得票数は1万207票増、得票率は22.51ポイント上回りました。小金井市では共産・立民などが推薦する無所属の漢人(かんど)明子氏が、得票数1万8789票、得票率45.40%を獲得し、都民ファーストの会の現職を破りました。

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

**共産 都議選3連勝 女性議員14人 第1党**

4日投票開票された東京都議選(定数127)で日本共産党は現有18議席を確保し、1議席増の19議席を実現しました。3回連続の前進は1965~73年以来、ほぼ半世紀ぶり。「歴史的快挙」(志位和夫委員長)となりました。

低投票率で主要政党がすべて得票を減らすなか、共産党は31人が立候補、前回と比較が可能な選挙区で、得票率を14.83%から15.79%へ前進させました。2人区に立候補した3氏は全員当選。前回215票差で惜敗した文京区の福手裕子氏はトップで初当選、他党派議員や市民から支援を受けた日野市の清水登志子氏も初当選しました。北多摩4区の前原紀子氏はトップで再選を果たしました。

目黒区の星見定子氏が6票差で惜敗、北多摩3区の田中智子氏も大接戦でしたが、及びませんでした。墨田区の伊藤大気氏も健闘しましたが、一歩及びませんでした。

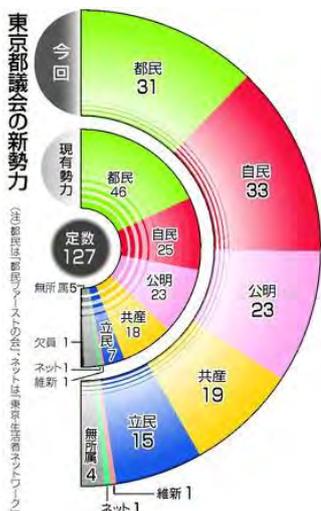
女性議員が19人中14人、74%を占め、実数で第1党になりました。

自民党と公明党は両党で都議会過半数(64議席)を狙いましたが、自民党33議席、公明党23議席で届きませんでした。都民ファーストは現有45議席から31議席に減らし、第2党となりました。

投票率は42.39%(前回51.28%)で過去2番目の低さでした。

**自公、過半数届かず 衆院選控え菅政権に打撃—自民第1党、都民ファと僅差—都議選**

時事通信 2021年07月05日09時28分



【図解】都議選・東京都議会の新勢力

勢力

衆院選の前哨戦となる東京都議選(定数127)が4日、投票開票された。前回大敗した自民党は都議会第1党に返り咲いたものの伸び悩み、公明党と合わせて56議席と過半数(64)に届かなかった。小池百合子知事が特別顧問を務め、現在最大勢力を有する地域政党「都民ファーストの会」は議席を減らし、自民と僅差で第2党となった。立憲民主党と共産党は現有議席を上回った。

秋までに衆院選を控える中、自公は目標としていた過半数を獲得できず、菅政権に打撃となった。一方、議会の勢力が分散することで、小池氏の都政のかじ取りは難しくなりそうだ。

党派別当選者は自民33人、公明23人、都民ファ31人、立民15人、共産19人など。日本維新の会と地域政党「東京・生活者ネットワーク」はそれぞれ1議席を獲得した。

都議選の投票率は42.39%で、前回(51.28%)を下回った。新型コロナウイルス対策のほか、感染拡大が懸念される中での五輪開催や観客入りの是非をめぐって論戦が交わされた。

全42選挙区に60人を擁立した自民は、前回選で都民ファと組んだ公明との選挙協力を復活。党幹部や閣僚を投入するなど組織的な選挙戦を展開した。現有25議席から上積みしたものの、過去2番目に少ない33議席にとどまった。23人を公認した公明は、8回連続の全員当選を果たした。

都民ファは現有46議席に対し、47人を立てた。4年前とは異なり公明の協力がなかった中での戦いとなったが、過労で入院した小池氏は選挙戦最終日に選挙区へ出向き、てこ入れした。

31人を擁立した共産と28人を公認した立民は、五輪の中止・延期を訴えた。主に1、2人区で候補者調整をして、都議選に臨んだ。

**自公、過半数届かず 菅政権に打撃—自民、都民ファと僅差で第1党—立共は増—都議選**

時事通信 2021年07月05日04時55分



【第1党に返り咲き、笑顔の丸川珠代五輪担当相(左から2人目)ら=5日未明、東京・永田町の同党本部



衆院選の前哨戦となる東京都議選(定数127)が4日、投票開票された。前回大敗した自民党は都議会第1党に返り咲いたものの伸び悩み、公明党と合わせて56議席と過半数(64)に届かなかった。小池百合子知事が特別顧問を務め、現在最大勢力を有する地域政党「都民ファーストの会」は議席を減らし、自民と僅差で第2党となった。立憲民主党と共産党は現有議席を上回った。

秋までに衆院選を控える中、自公は目標としていた過半数を獲得できず、菅政権に打撃となった。一方、議会の勢力が分散することで、小池氏の都政のかじ取りは難しくなりそうだ。

党派別当選者は自民33人、公明23人、都民ファ31人、立民15人、共産19人など。

都議選の投票率は42.39%で、前回(51.28%)を下回った。新型コロナウイルス対策のほか、感染拡大が懸念される中での五輪開催や観客入りの是非をめぐって論戦が交わされた。

全42選挙区に60人を擁立した自民は、前回選で都民ファと組んだ公明との選挙協力を復活。党幹部や閣僚を投入するなど組織的な選挙戦を展開した。現有25議席から上積みしたものの、過去2番目に少ない33議席にとどまった。23人を公認した公明は、8回連続の全員当選を果たした。

都民ファは現有46議席に対し、47人を立てた。4年前とは異なり公明の協力が不在の中での戦いとなったが、過労で入院した小池氏は選挙戦最終日に選挙区へ出向き、てこ入れした。

31人を擁立した共産と28人を公認した立民は、五輪の中止・延期を訴えた。主に1、2人区で候補者調整をして、都議選に臨んだ。

このほか、日本維新の会と地域政党「東京・生活者ネットワーク」はそれぞれ1議席を獲得した。

## 自民、衆院選へ危機感 コロナ・五輪対応に反発一菅首相「選挙の顔」不安も・都議選

時事通信 2021年07月05日07時10分



当選確実が出た候補者名に花を付ける自民党都連の鴨下一郎会長(右から2人目)ら=4日夜、東京・永田町の同党本部



自民党は4日の東京都議選で、公明党と合わせて過半数奪還を目指したが伸び悩んだ。新型コロナウイルス感染対策や東京五輪をめぐる菅政権の対応への反発があるとみられ、秋までにある衆院選に向け危機感を強めている。

「このままでは衆院選も厳しい」。党幹部の一人は4日夜、衆院選への焦りを隠さなかった。山口泰明選対委員長は党本部で記者団に「残念。どこが足らなかったのか精査し、衆院選に臨んでいかなければいけない」と語った。

伸び悩みの要因は、菅政権のコロナ・五輪対応だ。東京都の新規感染者数が選挙期間中も前週の同じ曜日を上回り続ける中、菅政権は五輪の開催と有観客にこだわった。「切り札」のはずのワクチン接種をめぐる混乱も明らかになった。

党関係者は「都民ファーストの会を引き離せないのは、都民ファが無観客開催を公約に掲げたから。都民は五輪に敏感だ。怖がっている」と指摘した。公明党の石井啓一幹事長は4日夜のNHK番組で「政府は無観客も真剣に検討してほしい」と求めた。

前回の2017年は、小池百合子都知事が都民ファを率いて旋

風を巻き起こし、自民党は過去最低の23議席に沈む歴史的大敗を喫した。このため、同党は知事選での支援などを通じて小池氏に接近。小池氏から「少なくとも敵対しない」との感触を得ていた。

都民ファと前回組んだ公明党との選挙協力も復活。自民党内では選挙戦当初から「前回23議席の倍増は固い」との楽観論も飛び交っていた。

過労を理由に入院していた小池氏が都民ファを激励したのは選挙戦最終日。党関係者は「小池氏への同情票もあった」と語った。

菅義偉首相は4日、選挙プランナーの三浦博史氏と首相公邸で意見交換。席上、「結構、都民ファが取るみたいだね」と語ったという。選挙期間中、首相は告示日の出陣式を除いて演説のマイクを握らなかった。自民党は4月の衆参3選挙でも全敗しており、党内では「首相の下で衆院選を戦うのは不安だ」(岸田派中堅)と、「選挙の顔」としての首相に懸念を示す声も漏れた。

◇すみ分けに手応え

一方、立憲民主党と共産党は今回、1~2人区を中心に候補者を「すみ分け」。立民が共産候補を、共産が立民候補を応援するケースもあった。共産党の志位和夫委員長は4日夜のNHK番組で「かなり効果を挙げ、共闘が進んだ。総選挙につなげたい」と述べ、5日以降、衆院選協力の協議加速を立憲に働き掛ける考えを示した。

ただ、両党が選挙協力を深めることに、立民の支持団体である連合は反発している。国民民主党も反共産の立場。衆院選は今秋に迫っており、立民は難しいかじ取りを迫られそうだ。福山哲郎幹事長は5日未明、記者団に「まずは国民、社民両党と(協議を)やる。その後、共産党とどのような形でやれるか調整したい」と述べるにとどめた。

## 「勝者なき選挙」「眠れない日続いた」都議選一夜明けて

朝日新聞デジタル 武田啓亮 2021年7月5日 12時06分



当選から一夜明け、雨が降る中でマイクを握る都民ファーストの会の荒木千陽代表=2021年7月5日午前7時34分、東京都中野区の中野駅南口



東京都議選の投開票から一夜明けた 5 日、激戦を勝ち抜いた候補者らはさっそく街頭に繰り出した。特定の党への風が吹かない中、「勝者なき」選挙となった都議選。投票率も前回から約 9 ポイント落ち、第 1 党を奪還した自民党、第 2 勢力となった地域政党「都民ファーストの会」の当選者ともに厳しい表情を見せた。

都民ファ、コロナ施策不満「一定の受け皿には」

「第 1 党とはなりませんでしたが、小池知事が掲げた都政改革の精神を忘れずに、今後も小池知事を支えていきたい」

都民ファ代表の荒木千陽氏は 5 日朝、中野駅前前で 1 時間半にわたってマイクを握った。自身も再選を果たし、通行人から「おめでとう」と声をかけられると、グータッチを交わした。

結党した小池百合子知事が「旋風」を巻き起こし、圧勝した 4 年前とは一変した今回の選挙戦。閣僚や党首クラスが続々と応援に入る国政政党とは違い、小池氏は最終盤まで動かなかった。候補者の日頃からの地元での活動量が試され、都民ファにとっては地力が問われた選挙戦となった。

荒木氏は街頭演説で、新型コロナウイルスの水際対策やワクチン確保の失敗を批判し続けた。コロナの感染状況が悪化する中、主張が受けられる手応えを得たという。「勝者はいない選挙戦だった。だけど政権与党に対する不満はすさまじく、その受け皿に都民ファが一定程度なることができたのかなとも思う」

都民ファの当選者は 31 人で、告示前より 14 議席減らした。それでも党勢を象徴する 1 人区の 7 選挙区では 3 議席を都民ファが取り、自民党の 2 議席を上回った。劣勢が指摘された候補者も当選が相次いだ。

2 議席を 5 人で争った渋谷区で立候補した現職の龍岡愛梨氏 (44) もその一人だ。元民放のアナウンサーとして、前回選挙では 2 位に約 1 万票差をつけてトップ当選。今回は次点候補に 771 票差まで迫られながら、競り勝った。子育て世帯への支援や性的マイノリティーへの差別解消などを訴えた。4 日夜、当選確実が報じられると、「前回と全然違う選挙だった。何が正解かわからない状況で、風はないものと思っていた」と振り返った。それでも当選を果たしたことについて、ダウン症の息子がいることに触れ、「私に託していただいたことは都議会にとってもよかった」と語った。(軽部理人、山本孝興)

自民「有権者から厳しいお叱りも」

自民党は 33 議席を獲得し、第 1 党を奪還したものの、民主党 (当時) への政権交代直前にあった 2009 年都議選の 38 議席を下回る結果となった。告示前の 25 議席からは伸ばしたが、60 人の候補者の半数近くが落選。最低ラインの目標としていた自民、公明両党で過半数に届かなかった。

特に複数擁立した選挙区では、苦戦を強いられた候補者が相次いだ。

町田市 (定数 4) で立候補した元 J リーガーの星大輔氏 (40) は 3 番手で初当選。同じ選挙区に自民が擁立した女性新顔は落選した。星氏は「不安で眠れない日々が続いた」と振り返る。

5 日午前 7 時ごろ、星氏はさっそく町田市の鶴川駅前前で街頭に立った。

「おかげさまで当選を果たすことができました。ありがとうございました」

「がんばって」と声をかけられると、グータッチで応えていた。1 時間ほど、改札前を行き交う人に声をかけ続けた。

「有権者から厳しいお叱りもいただいた。現職候補が落選した選挙区もある。この都民の声は真摯 (しんし) に受け止めたい」。選挙戦を通じて、ワクチン接種の遅れやコロナ禍で東京オリンピック (五輪) ・パラリンピック開催を目指す党の姿勢への反発を強く感じたという。

都議として、元 J リーガーならではの視点も生かしたいと考えている。「子どもがのびのびと外で遊べる環境を整備したい」というのが市議時代から取り組んできた目標の一つだ。「体力にはまだまだ自信がある。街を歩いて都民の声を拾う、『足で稼ぐ議員』でありたい」と抱負を語った。(武田啓亮)

## 都民ファ善戦、与党内で小池知事への警戒感強まる…二階氏「よくやっている」

読売新聞 2021/07/06 07:05



© 読売新聞 自民党の二階幹事長と

会談後、記者団の質問に答える小池都知事 (5 日午後、自民党本部で) =川口正峰撮影

東京都議選で地域政党・都民ファーストの会が劣勢の予測を覆して善戦し、存在感を示したことで、自民、公明の与党内に都民ファの顧問を務める小池百合子都知事への警戒感が強まっている。東京五輪・パラリンピックの成功を花道に、国政復帰するとの観測が絶えないうえだ。

小池氏は 5 日、自民党本部を訪れて二階幹事長と会談し、都議選後の連携を確認した。小池氏は面会后、記者団に「都民の皆様のご判断が投票の数で表れた」と都民ファの選挙戦を総括した。これに先立ち、公明党の山口代表とも会談した。

選挙戦を通し、小池氏は異例の動きを見せた。告示直前に過労のため入院し、表舞台から姿を消すと、世間の心配と同情が高まるなか、選挙戦最終盤で復帰。最終日の 3 日には都民ファ候補者の支援に入り、注目をさらってみせた。都民ファは当初 1 桁台に議席を減らすとの予想があったが、3 議席まで巻き返した。

山口氏は 5 日の BS テレ東番組で「(小池氏の支援は) 最終盤の救いの手になった」と分析。自民からは「全て戦略通りだとしたら、大したもんだ」と感嘆の声すら上がった。

小池氏は 5 日、国政復帰の臆測に関して、記者団に「そういう意思を一度も言ったことがない」と強調し、打ち消した。

それでも与党内で警戒感が強いのは、2017 年衆院選で肝を冷やした記憶が残るからだ。小池氏が結党した希望の党と民進党が合流して「小池旋風」を起こしたが、一部の民進党議員に対する「排除」発言で失速したことに救われた経緯がある。今回の都議選で小池氏の影響力が健在なことが改めて示され、自民内からは「衆院選で小池氏が『初の女性首相』を掲げたら、どれだけ票を集めるかわからない」(閣僚経験者) との懸念が出ている。

一方で、自民には小池氏を取り込む動きもある。二階氏は小池

氏と定期的に面会を重ねて強固な関係を築き、小池氏を自民へと引き戻す選択肢を探る。「首相候補カード」として手元に置く狙いで、二階氏は周囲に「小池はよくやっている」と賛辞を惜しまない。

## 都議選 1 人区、自民 2 勝どまり 「コロナ、五輪逆風」 苦戦明らか

毎日新聞 2021/7/5 18:33 (最終更新 7/5 19:03)



都議選の自民党選挙センターで、なか

なか当選確実のバラが増えない中、テレビ中継に臨む山口泰明選挙対策委員長＝東京都千代田区の自民党本部で2021年7月4日午後11時2分、手塚耕一郎撮影

東京都議選では、注目された七つの1人区で自民党が2勝5敗と苦戦した。全体の勝敗を左右すると言われる1人区。今回は都民ファーストの会が3勝、野党系候補が2勝と当選者が分散し、他党と差を広げることができなかった。

自民は1人区で、前回は都民フと連携した公明党の協力を得ながらも、支持の広がりや欠いた。1人区の千代田区選挙区で都民フ候補に競り負けた新人は「新型コロナウイルスワクチンの確保や東京オリンピック・パラリンピックの開催など、自民党への逆風を感じた」と話した。

一方、共産党と立憲民主党は一部選挙区で候補者を調整する「野党共闘」をした結果、片方の党の候補者だけが立候補した20選挙区のうち11選挙区で当選を果たした。渋谷区、中野区などトップ当選する選挙区もあり、一定の効果上げた。

北区選挙区の共産現職の陣営関係者は「共産に抵抗感がある人も、立憲と組めば投票しやすくなる。次の衆院選につながった」と手応えを感じていた。ただ、立憲の支持団体の連合が共闘に反発しており、国政でも実現するかは見通せない状況だ。【古関俊樹、南茂芽育】

## 都民フ、第2党に 小池氏応援が影響か 自公と関係悪化の可能性

毎日新聞 2021/7/5 11:48 (最終更新 7/5 16:35)



選挙戦最終日、荒木千陽・都民

ファーストの会代表(左)の事務所を訪れ、激励する小池百合子東京都知事＝東京都中野区で2021年7月3日、幾島健太郎撮影

4日投票の東京都議選(定数127)は、自民党が現有議席(25)を上回る33議席を得て、第1党になった。一方で選挙協力した公明党と合わせた議席は56議席で、自公で過半数(64議席)を確保する目標は達成できなかった。小池百合子知事が特別顧問を

務める「都民ファーストの会」は前回より後退したものの31議席を得て第2党となり、自民と拮抗(きっこう)する勢力を維持した。

自民の獲得議席は、民主党(当時)に敗れて政権交代につながった2009年の都議選の38を下回った。23人を擁立した公明は苦戦が伝えられたものの、8回連続で候補者全員が当選した。小池氏が選挙終盤に都民フ候補の応援に入ったことが結果に影響したとの見方もあり、自公との関係が悪化する可能性もある。共産党、立憲民主党とも改選前より議席を伸ばした。

菅義偉首相は5日、自公で目標の過半数に届かなかったことについて「約束した過半数を実現できなかったことは謙虚に受け止めた。要因はいろいろあると思うが、冷静にしっかり分析して次に備えたい」と述べた。首相官邸で記者団の質問に答えた。自民にとって都議選の失速は想定外で、秋までに実施される次期衆院選への悪影響を懸念する声が広がっている。山口泰明選挙対策委員長は4日夜「反省材料として、次の糧にしなければいけない」と厳しい表情で話した。

公明党の山口那津男代表は5日未明、「ぎりぎりの結果だったが次へのステップになると思う」とする一方、自公で過半数に届かなかったことには「都議選では都民フの存在があり、小池知事のイメージを前面に立てて戦っていた。そういうことが少なからず影響したのではないかと述べ、都議選の結果は衆院選には直結しないとの見方を示した。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は5日未明、「国政与党への根強い批判があり、特に自民への批判票が立憲や共産、都民フに流れた」と分析。次期衆院選に向け「野党が一本化して候補者を立てればまとまった票が来る可能性がある」と述べた。共産党の志位和夫委員長も「同じような相互支援を全国規模で展開したい」と野党の選挙協力に意欲を示した。

一方、東京都選挙管理委員会は5日、都議選の投票率を42・39%に訂正した。足立区選管が区内の投票率を訂正したため。1997年都議選の40・80%に次いで過去2番目に低かった。【古関俊樹、木下訓明、宮原健太】

## 都議選 自民第1党も自公で過半数届かず 都民は議席減で第2党に

NHK2021年7月5日 16時26分

4日の東京都議会議員選挙で、自民党は都議会第1党となったものの過去2番目に少ない議席数で、目標としていた自民・公明両党での過半数にも届きませんでした。一方で、都民ファーストの会は議席を減らし自民党とは2議席差で第2党となりました。



東京都議会議員選挙は開票が行われ、42の選挙区の127の議席が確定しました。

選挙前は45議席で第1党だった都民ファーストの会は14議席減らして31議席にとどまりました。

2人を擁立した八王子市でいずれも落選したほか前回の選挙で2人が当選した選挙区で今回は1議席にとどまるケースが相次いだためです。

一方、選挙前25議席だった自民党は議席を上積みしたとはいえ、33議席の獲得にとどまって、過去2番目に少ない議席数になり都議会第1党にはなったものの目標としていた自民・公明両党での過半数にも届きませんでした。

2人を擁立した品川区と目黒区の選挙区ではいずれも1議席も獲得できなかったほか、大田区では3人中2人が落選するなど厳しい結果となりました。

自民党と選挙協力を行った公明党は23人の候補者全員が当選し、平成5年の都議会議員選挙以降、8回連続での全員当選となりました。

また共産党は、選挙前の18議席から1つ増やして19議席を確保しました。

さらに、選挙前8議席だった立憲民主党は15議席に伸ばしました。

日本維新の会と、東京・生活者ネットワークは、いずれも選挙前と同じ1議席を獲得しています。

当選した女性候補者41人で過去最多

今回の都議会議員選挙で当選した女性の候補者は、これまでで最も多かった前回・4年前の選挙をさらに5人上回り41人となって過去最多となりました。

定数127のおよそ3分の1が女性の議員となります。

菅首相「謙虚に受け止めたい」



菅総理大臣は、総理大臣官邸で記者団に対し「都民の皆さんに約束して戦った、自民党と公明党で過半数を実現できなかったことは、謙虚に受け止めたい」と述べました。

そのうえで「前回の選挙と比較して8議席伸ばし、第1党になった。自民党として、都政の発展のため、都民の皆さんのため、その責任感のもとに全力で取り組んでいきたい。要因はいろいろあると思うので、まず、党の東京都連と党本部が連携しながら、冷静に期間をおいて分析し、次に備えたい」と述べました。

一方、東京オリンピック・パラリンピックをめぐり、記者団が「無観客を訴えた都民ファーストの会が自民党に肉薄し、中止を訴えた共産党も議席を伸ばしたが」と質問したのに対し「5者協議の中で、主催者の東京都と政府、組織委員会、さらにIOCやIPCで最終的に方向性を決めると前から決めているので、選挙の結果にかかわらず、日程は決めている。まん延防止等重点措置についての結論も早々に出さなければいけないと思っているので、全体を考えながら進めていきたい」と述べました。

加藤官房長官「必要な対応を取っていく」

加藤官房長官は、5日午前の記者会見で「結果を謙虚に受け止め、

分析し、今後に活かしていきたい。地方自治体の選挙であり、これまでも具体的なコメントは差し控えているが、まずは新型コロナウイルス対策をはじめとした諸課題に、東京都ともしっかりと連携を取りながら、引き続き全力で取り組んでいきたい」と述べました。

また、記者団が「自党内では『事実上の敗北だ』などという声があがっているが」と質問したのに対し「結果を謙虚に受け止めながら、そこに示され含まれている民意を党と連携しながら分析し、必要な対応を取っていくということに尽きる」と述べました。立民 安住国対委員長「五輪・コロナ対応への評価が如実に」



立憲民主党の安住国会対策委員長は、記者団に対し「東京オリンピックやコロナ対応などへの評価が如実にあらわれた。いまの自公政権に対する不満が相当根強かったけれどもその一定の受け皿に都民ファーストの会がなったということが、この結果だ。次の衆議院選挙では、立憲民主党が中心になり、政権に対して不満を持っている方々の受け皿になっていくことが大事だ」と述べました。

また、今回、一部の選挙区で共産党と行った候補者のすみ分けについて「如実に成果が出た。国政においても参考にしないといけない。野党が1つになれば政権交代も現実味を増したということだ」と述べました。

共産 小池書記局長「野党共闘は1歩進んだ」

共産党の小池書記局長は、記者会見で「『現有議席を確保し、新たな議席増に挑戦する』という目標を達成でき、勝利だ。わが党と立憲民主党との間の候補者調整が非常に大きな成果を上げ、自民・公明両党を過半数割れに追い込む力になった。都議会議員選挙を通じて野党共闘は1歩進んだと思うので、次の衆議院選挙に向けて、まずは立憲民主党と話し合いをしたい」と述べました。各党の得票は

今回の東京都議会議員選挙で、各党が公認した候補者の得票数を合わせると

▽自民党が119万2796票

▽都民ファーストの会が103万4778票

▽公明党が63万810票

▽共産党が63万158票

▽立憲民主党が57万3086票などとなりました。

このうち今回が初めての選挙戦となった立憲民主党を除く4党を前回4年前の選挙と比較すると

▽自民党は6万7000票余り

▽都民ファーストの会は100万3000票余り

▽公明党は10万3000票余り

▽共産党は14万3000票余り、いずれも減っています。

また、得票率では

▽自民党は今回が25.7%で前回よりおよそ3ポイント上がりました。

▽都民ファーストの会は今回が22.3%で前回よりおよそ14ポ

イント下がりました。

▽公明党と共産党はいずれも今回が 13.6%で、公明党は前回よりわずかに上がり、共産党はわずかに下がりました。

また、今回の東京都全体の投票者数は 472 万 9484 人で、前回より 95 万 2380 人減りました。

### 自民、都議選失速は想定外 次期衆院選へ悪影響懸念

毎日新聞 2021/7/5 11:08 (最終更新 7/5 11:23)



記者団の取材に応じる菅義偉首相 (左) =

首相官邸で 2021 年 7 月 5 日午前 9 時 53 分、竹内幹撮影

東京都議選 (定数 127) で、自民党と公明党は両党合わせて過半数との目標に届かなかった。菅義偉首相は 5 日午前、首相官邸で記者団に「約束した過半数を実現できなかったことは謙虚に受け止めたい。要因はいろいろあると思うが、冷静にしっかり分析して次に備えたい」と述べた。

都議選では、都民ファーストの会が東京オリンピック・パラリンピックの無観客開催を掲げ、選挙戦の争点となった。首相はこの点について「(政府や東京都、組織委員会など) 5 者で最終的に方向性を決める。全体を考えながら進めたい」と話した。自民党にとって都議選の失速は想定外で、次期衆院選への悪影響を懸念する声が広がっている。山口泰明選対委員長は 4 日夜、「反省材料として、次の糧にしなればいけない」と厳しい表情で話した。

公明党は候補者全員が当選を果たし、山口那津男代表は 5 日未明、「ぎりぎりの結果だったが次へのステップになると思う」と総括した。自公で過半数に届かなかったことについて「都議選では都民フの存在があり、(特別顧問の) 小池百合子都知事のイメージを前面に立てて戦っていた。そういうことが少なからず影響したのではないかと述べ、衆院選の結果には直結しないとの見方を示した。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は 5 日未明、「国政与党への根強い批判があり、特に自民党への批判票が立憲、共産党、都民フに流れた」と分析。次期衆院選に向け「野党が一本化して候補者を立てればまとまった票が来る可能性がある」と述べた。共産党の志位和夫委員長も「都議選の結果を踏まえて協議をしっかりとやる。同じような相互支援を全国規模で展開したい」と野党の選挙協力を意欲を示した。【木下訓明、宮原健太】

### 自民、都議選失速 経済対策急ぐ 五輪や保守層も意識

日経新聞 2021 年 7 月 5 日 22:00 [有料会員限定]



東京都議選の結果などについて、記者団の取材に応じる菅首相 (5 日、首相官邸) =共同

自民党は 4 日投開票の東京都議選で公明党と合わせて過半数に届かなかった。大勝して秋までに実施する衆院選へ弾みをつける想定が狂った。党内の衆院選への焦りを踏まえ、経済対策づくりを急ぐ。東京五輪・パラリンピックの開催方式を巡る世論や保守層の動向も意識する。

「みんなその方がいいと思っています」。自民党幹部は 5 日、菅義偉首相 (党総裁) に東京五輪を無観客で開くよう進言した。都議選で小池百合子知事が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」は無観客開催を唱え、共産党は五輪中止、立憲民主党は「延期か中止」を掲げた。こうした主張が一定の支持を集めたとみたと訴えた。

党内には当初、現有議席から倍増となる 50 議席を得る期待があった。結果は 33 議席と過去 2 番目に少なかった。下村博文政調会長は 5 日、首相と面会した際に「非常に厳しい選挙だった」と伝えた。下村氏によると首相は「そうだったね」と同じ認識を示した。

菅政権での与野党対決型の選挙			
1月24日	山形県知事選	×	自民推薦候補が敗北
3月21日	千葉県知事選	×	自民推薦候補が敗北
4月25日	衆院北海道2区補選	×	不戦敗
	参院長野選挙区補選	×	自民公認候補が敗北
	参院広島選挙区再選挙	×	自民公認候補が敗北
6月20日	静岡県知事選	×	自民推薦候補が敗北
7月4日	東京都議選	△	公明党と合わせて過半数の目標に届かず

(注) ×は敗北、△は目標未達

下野した 2009 年衆院選の直前にあった都議選で、自民党の議席数は 38 だった。今回はそれを下回った。支持政党がない無党派層が多い都市部中心の都議選は党勢を見極める材料となるだけに党内には動揺がある。

新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念は広がっている。都内の新規感染者数は増加傾向が続き、東京五輪の人流が感染をさらに増やすとの不安がある。

都内では 1 月に 2 度目の緊急事態宣言を発令して以降、宣言や宣言に準じる「まん延防止等重点措置」の適用が断続的に続く。飲食や観光などの経営環境は厳しさを増す。

自民党は夏までに追加経済対策の骨格を示し、次期衆院選の公約に盛り込む方針だ。コロナ禍で打撃を受ける事業者への支援策や生活に困窮する個人への給付金の拡充などが浮上する。

脱炭素やデジタル化を促す施策を前倒して進める主張もある。首相は 6 月の党首討論で「景気動向に最大限の注意を払って必要な対策を講じていく」と語った。

一方で 20 年春から積み増してきた国の予算 73 兆円のうち 30 兆円程度は 6 月下旬時点で使い残している。規模を追求しても経済の維持や成長に寄与するとは限らない。

支持基盤となる保守層の反応も考慮する。結婚の際に夫婦が同姓か別姓かを選べるようにする選択的夫婦別姓制度を巡っては、保守層に慎重論が多い。衆院選公約は是非に踏み込まない方向だ。菅政権が昨年 9 月に発足してから自民党は与野党対決型の選挙で苦戦が続く。4 月の衆参両院の補欠選挙・再選挙は 1 議席も得られなかった。千葉や静岡などの県知事選も敗れた。

楽観論があった都議選で想定を下回る議席に終わり、二階俊博幹事長への批判も出始める。二階氏は小池氏に近く、5日も党本部で会談した。都議選の告示後、公式に自民党候補者の事務所を応援に回ったのは1日だけだった。

党幹部は「都議選で動けない幹事長とは何なのか」と周囲に不満をもらした。衆院選後の幹事長人事とも絡み、党内の安定には揺らぎがみえる。

## 「五輪無観客論」与党内で強まる 都議選 都民ファ・共産・立民・ネットで議席過半数に

東京新聞 2021年7月5日 19時52分

4日投票開票された東京都議選(定数127)では、東京五輪・パラリンピックの中止や延期、無観客開催など、大会のあり方を見直すよう訴えた勢力の獲得議席が過半数に達した。後手後手の印象が強い新型コロナ対策や、五輪開催に突き進む菅政権の姿勢への不満が自民党苦戦の原因とも指摘されており、与党内でも無観客論が強まりつつある。(清水俊介)

### ◆平静装う首相、踏み込む公明

菅義偉首相は5日、都議選の結果が五輪の観客問題に与える影響を記者団に問われ「(政府や大会組織委員会などの)5者協議の中で最終的に決める。選挙の結果にかかわらず」と平静を装った。だが、公明党の山口那津男代表は同日夜のBSテレ東番組で「無観客をベースにした方が良い。五輪を機に新型コロナ感染が広がれば台無しになる」と踏み込んだ。

都議選で自民、公明の国政与党が五輪の争点化を避けたのに対し、31議席を獲得した都民ファーストの会は公約に「開催の場合は無観客」と明記。19議席の共産党は「中止をただちに決断」することを求め、15議席の立憲民主党は「感染拡大の懸念がなくならなければ延期または中止」を掲げた。

この3党と、中止に言及した生活者ネットの1議席を合わせると、獲得は66で過半数を上回った。

自民が伸び悩んだ要因として、党幹部は「コロナの影響はあるだろう」と分析。別の与党幹部は、観客入りの五輪開催にこだわる菅政権の姿勢や政府によるワクチン供給の停滞を挙げ「保守票が都民ファに流れた」と指摘する。

政府内では、11日に期限が迫るまん延防止等重点措置の延長が有力になっている。重点措置なら、政府の基準でスポーツイベントの観客は定員の50%以内で上限5000人。政府高官は「あくまで感染状況に応じて決める」と強調し、首都圏で緊急事態宣言が発令された場合は「無観客もあり得る」と繰り返す首相の発言を踏まえて判断する考えを示した。

### ◆圧勝政党なし「1人区」4勢力で分け合う

今回の都議選は2009年以降3回の選挙と異なり、50議席超を得て圧勝する政党が現れなかった。自民党が都議会第一党を奪還するも、過去2番目に少ない33議席に停滞。31議席に減らして第2会派に後退した都民ファーストの会と拮抗する結果に終わった。第1党が多くを制する傾向にある7つの「1人区」を4勢力が分け合った。

当選者の定数が1人の「1人区」は、千代田区、中央区、武蔵野市、青梅市、昭島市、小金井市、島部の7つ。過去7回の都議選では、第1党が5つ以上を取ってきた。「風」を受けた政党が

圧倒し、「選挙全体の勝敗の鍵を握る」とされてきた。

09年は直後の衆院選で政権交代を果たすことになる民主党(当時)が5つを獲得した。13年は都議会第一党に返り咲いた自民が7つを独占。17年は「小池旋風」を背景に大躍進した都民ファが島部を除く6つを制した。

ところが今回は、千代田、青梅、昭島の3カ所を都民ファが、中央、島部の2カ所を自民が、武蔵野と小金井をそれぞれ立憲民主党と無所属が制するなど、ばらばらの結果に。有権者の支持が分散したことが鮮明となった。

一方、当選者の新旧別では、現職が88人で前回より21人増。新人は33人で前回から21人減った。元職は前回と同数の6人だった。年代別では、40代が42人(33・1%)と最多。次いで50代の38人(29・9%)、60代の24人(18・9%)だった。(小倉貞俊)

### ◆対立軸混在で「1強」生まず

自公が過半数割れした都議選について、法政大大学院の白鳥浩教授(現代政治分析)に、民意が割れた結果と秋までに行われる衆院選への影響を聞いた。(聞き手・関口克己)

今回の都議選で民意が大きく分かれて「1強」を許さなかったのは、小池都政への評価か、衆院選の前哨戦かという要素が混在した戦いだったからだと思う。

前者と位置付ける人は「自公」対「都民ファーストの会」、後者の場合は「自公」対「立憲民主・共産」という対立軸となり、自公批判票は前者なら都民ファへ、後者なら立共に流れた。自民はコロナ禍で集会や支持者の動員ができなかったこともマイナスだった。

自民は第1党になったとはいえ、33議席は麻生太郎首相の下で行われ、直後の衆院選で政権を失った2009年の都議選の38議席よりも少ない。今回は立民と共産の合計34議席を下回り、1人区で2勝にとどまったことは、自民の敗北を意味する。告示後も新規感染者は増え、ワクチン確保もうまくいかず、政権の対応の後手後手ぶりが都民の目にも鮮明になったことが敗因だ。

立民の躍進は共産との選挙協力があったためだ。都議選で勝利したことで、衆院選では全国的に選挙協力を展開する可能性が高い。政策のギャップをどう埋めるかがカギとなる。

今回の結果が衆院選にそのままつながるとは限らない。衆院選には都民ファがないためだ。菅政権のコロナ対策に強く反発する人は立民や共産を支持するだろう。一方で、小池氏がかつて所属した自民へと票が流れる可能性もある。ワクチン接種が進み、感染拡大を抑え込めれば自民党に有利になるし、その逆も考えられる。

## コロナ感染拡大で菅政権に不満 自公過半数届かず 秋の解散戦略に影響も 野党は共闘課題

東京新聞 2021年7月5日 06時00分

東京都議選で自民、公明が過半数に届かず、最大の争点だった新型コロナウイルス対策を巡る菅政権の取り組みに対する民意の不満が明確になった。与野党は今後、秋までに行われる衆院選へと攻防の場を移す。菅義偉首相は、コロナワクチンの接種を進め、東京五輪・パラリンピック直後に解散に踏み切る戦略とみられるが、都議選の結果はその構想に影響を与える可能性もある。

一方、野党側は、小選挙区で自民党に対抗するためには野党共闘という課題がある。(関口克己)

#### ◆ワクチン供給追いつかず...

「何が足りなかったかを精査し、来る衆院選に臨まなければいけない」

自民党の山口泰明選対委員長は4日夜、都議選の結果について、党本部で記者団に語った。

衆院議員の任期満了は10月21日。その前の9月30日に首相は自民党総裁任期を迎える。総裁再選を確実にするため、首相はパラリンピック閉幕直後の9月上旬にも臨時国会を召集し、解散に踏み切るとの見方が強い。

だが、政権にとって不安材料は数多い。首相はコロナ対策の「切り札」とするワクチン接種について、目標の1日100万回を記録したとアピールしてきたが、ここに来て供給が追いつかない問題に直面。職場接種の申請受け付けを休止した。これらの政権の対応に、都民は一票で反発を示した。

新規感染者数も拡大傾向。まん延防止等重点措置は、東京などでは期限の11日以降も延長が避けられない情勢だ。五輪を機に感染拡大が深刻になれば、五輪開催を進めた首相への批判が一気に高まることは避けられない。パラリンピック直後に解散したくてもできなくなる可能性もある。

自民では「政治とカネ」を巡る問題も続発。6月の静岡県知事選など各地の地方選では敗北も目立ち、今回の都議選でも歴史的な大敗を喫した前回から大幅な上乗せはできなかった。

#### ◆立民と共産、60選挙区で競合

「(衆院選は) 政権を選択する選挙だと国民に認識していただきたい」

立憲民主党の福山哲郎幹事長は4日夜のNHK番組で、衆院選で政権交代する決意を語った。当選者が1人の小選挙区制が柱の衆院選で課題となる野党候補一本化を急ぐ考えも示した。

立民は共産、国民民主、社民との間で、接戦区を中心に統一候補擁立を進める。4月の衆参3補選・再選挙では共闘して勝利しており、その再現を目指す。

だが、立民と共産は現在、約60の選挙区で競合。共産は野党連合政権構想を掲げるが、共産とは国民が原発政策などの違いから距離を置き、連合とも対立。立民の枝野幸男代表は「共産党との連立政権は考えていない」と話すなど一枚岩ではない。

調整の本格化は選挙直前とみられるが、野党候補が乱立したままなら、自民党を利する公算が大きい。

### 公明、苦しみつつ全員当選 「緊急事態下、有権者と触れ合えず」 ＜東京都議選＞

東京新聞 2021年7月5日 01時02分

都議選で全員当選が前回まで7回続いていた公明党。東京5日未明に23人全員が当選確実となったが、厳しい戦いとなった。都本部の高木陽介代表は、テレビの開票速報で自党の候補者の当確が伸び悩んだ現状を「緊急事態宣言下で集会が開けなかった。有権者と触れ合いながら訴える作業ができなかった」と厳しい表情で語った。

午後8時半すぎには、党本部で候補者名の書かれたボードに当選を示すバラの花付けが行われたが1人とどまった。ある幹部

は「大変厳しい戦いだ。長期戦になるだろうが、見守るしかない」。日付が変わっても、候補者23人のうち3人にバラが付かなかった。

前回の都議選は小池百合子知事が率いる都民ファと政策協定を結び、候補者を相互推薦し、自民と対立。今回は再び手を握り合い、自民候補を推薦するなど連携を図って臨んだ。

5日に会見した山口那津男・党代表は、自公で過半数の議席を獲得できなかったことに「都政運営に難しい状況が生まれた。自民候補を懸命に支援したが残念だ」と話した。衆院選への影響を問われると、「政権選択選挙と都議選は違う。政権を維持できるような有権者にしっかりと訴えたい」と述べた。(山田雄之)

### 今回も女性躍進！定数に占める比率は 32.3%に上昇 全国平均は 11.5%

東京新聞 2021年7月5日 12時45分

4日投開票された東京都議選は、過去最多だった前回2017年の36人を上回る41人の女性が当選した。定数127に占める女性比率は前回の28.3%から32.3%に上昇し、3割を超えた。(土門哲雄)

女性当選者の党派別では共産党14人、都民ファーストの会12人、自民党と立憲民主党が各4人、公明党3人の順。

総務省によると、都道府県議の女性比率の全国平均は昨年末時点で11.5%。市区町村議では14.8%。国会は衆院9.9%、参院23%となっている。

前回の都議選では、都民ファーストの会が追加公認を含めて55議席を獲得して躍進。このうち女性が18人を占めて女性比率を押し上げた。今回、女性候補の数は過去最多だった前回(65人)を上回って70人を大きく超え、全候補者の約3割を占めていた。

### 新たな都議会に託す有権者の思いは コロナ禍直撃の旅行業界や商店街、困窮者支援団体の関係者に聞く

東京新聞 2021年7月5日 12時33分

東京都議選は5日未明に全127議席が確定した。新議員たちはコロナ禍で厳しい状況にある東京の立て直しが急務となる。売り上げが激減している旅行業界、にぎわいを失った商店街、困窮者の支援団体の関係者に、新議会に託した思いを聞いた。

#### ◆移動の自粛解除はいつになるのか...旅行業協会会長

旅行・観光業界からは、感染の再拡大に「また先が見えなくなった」と悲痛な声も漏れる。東京都旅行業協会の村山吉三郎会長(68)は「本来なら夏休み前の忙しい時季なのに...。感染者が減らないことには人は動かない」とため息をつく。

協会には主に中小の旅行業者が加盟。団体旅行を扱う会社が多く、売り上げはコロナ前に比べ8~9割減という。村山さんが経営する「飛鳥旅行」(杉並区)にも問い合わせは来るが、予約に至らない状況だ。

小池百合子都知事は4月、「都県境を越えた移動の自粛」を呼び掛けたが、その後は明確な「解除」の発言はない。期待したワクチン接種も供給不足が指摘される。村山さんは「時間や人数の制限はあるが、お酒は飲んでいいとなった。でも、旅行は控えるよう言ったきり。旅行・観光業者への支援と希望を持てるメッセ

ージを」と訴えた。(奥野斐)

#### ◆商店街理事長はコロナ後の街づくりを見据えた支援望む

昼はランチ目当ての会社員、夜は接待客が多かった東京・赤坂。エスプラナード赤坂商店街振興組合の城所ひとみ理事長(74)は「コロナで街が一変した。1階のテナントが撤退したまま入らないなんて、どんな不況でもなかった」と嘆く。

チェーン店や大規模飲食店が次々と撤退。昼はリモート勤務で、夜は酒の提供自粛で街から人が減った。

ビルオーナーの城所さんは「家賃を下げてでもテナントが出て行き、収入が減り厳しい」と明かす。だが、ビルオーナーや飲食店に食材を納入する業者らへの支援金は乏しい。「格差や不公平感は広がっている」

都にはコロナ後の街づくりを考えた支援策を望む。「出店しよう、頑張ろうという人に手を差し伸べてほしい。資金力があるというだけで出店する店が増えると、長年つくり上げてきた赤坂らしい街が失われてしまう」と危惧する。(奥野斐)

#### ◆住まいの安定確保が急務と

生活困窮者を支援する認定NPO法人「自立生活サポートセンター・もやい」(新宿区)の事務局長・加藤歩さん(47)は「住まいを失わずにすむ政策、居場所がない人が安定した住まいを確保できる政策を打ち出すのが大事」と強調する。

緊急事態宣言が発令された昨年春、ネットカフェで暮らしていた多くの人々が都の休業要請で居場所を失った。失業して家賃を払えず、アパートを出た人からの相談は今も絶えない。生活保護を利用すれば、アパートに入るための費用を確保できるが、制度への誤解や偏見から、抵抗感がある人は少なくない。

加藤さんは住まいなどの支援制度や相談体制を充実させ、生活保護を積極的に広報する必要があると指摘。「住まいが安定しなければ、心身ともに健康でいられない。新しい議員は苦しい思いの人に寄り添って」と求めた。(中村真暁)

### 自民「とても勝ったと言えない」、都民ファーストの会「活動が足りなかった」ともに表情厳しく<東京都議選>

東京新聞 2021年7月5日 11時31分

五輪の開催や新型コロナウイルス対策が争点となった東京都議選は、自民党が辛くも第1党となったが、思ったように議席は伸びず、政権に打撃を与える結果となった。厳しい結果に都連幹部からは落胆の声が漏れ、第2党に踏みとどまった都民ファーストの幹部も笑顔はなかった。

「想像以上に厳しい結果だった」。5日未明、東京都議選の全議席確定を受け、自民都連の幹部の口をつくのは反省ばかりだった。

都連本部には、それぞれの選挙を終えて高島直樹都連幹事長ら都連幹部が集合。5日未明まで結果などについて意見を交わした。

「とても勝ったとは言えない」と高島幹事長。「前回と今回、幹事長として2回連続で厳しい結果になってしまった」と悔やんだ。

都議会自民党の山崎一輝幹事長も「結果を真摯(しんしん)に受け止めた」とがっかり。「五輪も含め、いろいろな不安や不満がすべてこちらに向いてしまった」と分析した。

自民の獲得議席は33。歴史的惨敗だった前回の23議席よりは伸ばしたが、目標に掲げていた自公での過半数には遠く及ばず。獲得議席数も前回に次ぐ史上2番目の低さだった。

5日未明に中野区内の選挙事務所で会見した都民ファーストの会の荒木千陽代表も厳しい表情。「全員当選を果たせず、代表として痛恨の極み。第1党を譲り渡してしまい、大変責任を感じている」と述べた。

都議会第1党を自民に譲ったものの、苦戦が伝えられた前評判からは選挙戦終盤に巻き返し、ほぼ拮据(きつこ)する形になった。ただ、荒木氏は「各候補者が実績や公約を掲げ、徐々に浸透してきたが、まだまだ活動が足りなかった」と反省を口にした。

選挙結果について、特別顧問を務める小池百合子知事との間でやりとりをしたかを聞かれ「個別のものから、総合的なものまで、いろいろやりとりはした」と述べるにとどめ、詳しくは明かさなかった。(岡本太、松尾博史)

### 東京都議選 女性の当選、過去最多の41人 自民・公明は女性の割合低く

東京新聞 2021年7月5日 02時03分

7月4日に投開票された東京都議選で、女性の当選者は41人となり、過去最多を更新した。当選者のうち女性が占める割合は、32%となった。女性の立候補者は77人で過去最多だった前回の65人を12人上回っていた。

政党別では、上位から共産14人、都民ファーストの会12人、自民と立憲民主がそれぞれ4人と続いた。政党ごとの当選者占める女性の割合は、ネット100%(当選1人)、共産74%、都民ファ39%、立民27%となった。一方で、政権与党の自民は12%、公明は13%と低かった。

男女平等度の指標となる「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本の順位が低迷するのは、政治分野の遅れが一因だと指摘されている。2021年版の政治参画分野で、日本は156カ国中147位と異例の低さとなっている。

### 今回も女性躍進! 定数に占める比率は32.3%に上昇 全国平均は11.5%<東京都議選>

東京新聞 2021年7月5日 12時45分

#### 当選者の男女の内訳

※内側は前回選挙



4日投開票された東京都議選は、過去最多だった前回2017年の36人を上回る41人の女性が当選した。定数127に占める女性比率は前回の28.3%から32.3%に上昇し、3割を超えた。(土門哲雄)

女性当選者の党派別では共産党14人、都民ファーストの会1

2人、自民党と立憲民主党が各4人、公明党3人の順。

総務省によると、都道府県議の女性比率の全国平均は昨年末時点で11.5%。市区町村議では14.8%。国会は衆院9.9%、参院23%となっている。

前回の都議選では、都民ファーストの会が追加公認を含めて55議席を獲得して躍進。このうち女性が18人を占めて女性比率を押し上げた。今回、女性候補の数は過去最多だった前回(65人)を上回って70人を大きく超え、全候補者の約3割を占めていた。

## 都議選、最多の女性候補者…“3割の壁”は

NNN2021年7月4日 22:07

任期満了に伴う東京都議会議員選挙の投票は、4日午後8時に締め切られました。今回の選挙で「女性候補者」は過去最多となりましたが、女性議員は増えるのでしょうか。小西美穂解説委員が解説します。

全文を読む

任期満了に伴う東京都議会議員選挙の投票は、4日午後8時に締め切られました。今回の選挙で「女性候補者」は過去最多となりましたが、女性議員は増えるのでしょうか。小西美穂解説委員が解説します。

### ■“3割の壁”に注目

ジェンダーギャップが大きい日本は、特に政治分野での女性進出が遅れています。そんな中、今回の都議選で女性議員の3割の壁がどうなるのかが注目されていました。

まず前回の都議選は女性の躍進が際立った選挙でした。小池都知事が「都民ファーストの会」を結成し、女性候補者を積極的に擁立したからです。全体で女性36人が当選し、都議会での女性議員はおよそ3割となりました。

2019年末現在の都道府県議会の女性議員比率(出典:内閣府男女共同参画局 2019年12月31日現在)を見ると、1位:東京(29.0%) 2位:京都(21.7%)、3位:神奈川(18.1%)、最下位は山梨(2.7%)と、東京都議会はトップです。全国平均は11.4%なので、2倍以上となっています。実はこの3割が、意味のある数字なんです。

### ■“3割”の意味——クリティカル・マス理論

組織における女性の割合を議論するときに、クリティカル・マスという理論があります。これは「決定的多数」という意味で、女性議員が1割や2割だと過度なプレッシャーがかかったり、発言しにくかったりして男性に埋もれてしまいがちですが、3割を超えると無視できない勢力になり、セクハラやヤジがやりにくくなり、議論の中身や政策の優先順位が変わると考えられています。

首都・東京の議会で、この女性3割の流れが維持できるのか注目されました。

今回は女性候補者が少なくとも74人いて、前回2017年選挙の65人を上回り、過去最多となりました。女性を擁立しようという機運の高まりがみられたのです。

2000年以降の女性当選者と女性候補者と当選者の推移を見ると、いずれも増加傾向となっています。

<東京都議選の女性当選者数(定数127)>

2001年 19

2005年 22

2009年 24

2013年 25

2017年 36

2020年 ?

<東京都議選の女性候補者数>

2001年 44

2005年 40

2009年 52

2013年 53

2017年 65

2020年 74以上

前回、女性候補者は65人で、今回、74人以上に増えていて、当選者は前回の36人、つまり3割のラインを超えるか、後退するかがポイントとなったわけです。

### ■女性候補擁立、各党でばらつき

ただ今回、女性候補者は全体では増えましたが、党別にみると、かなりばらつきがあるんです。

<主な党の候補者数の内訳>※ ()内は候補者総数

都民...18(47) 38%

自民... 9(60) 15%

公明... 3(23) 13%

共産...18(31) 58%

立憲... 8(28) 29%

主な党の候補者数の内訳を見ても、女性候補者の比率が最も高かったのが共産で58%。次に都民ファーストで38%、立憲が29%。一方、自民は15%、公明は13%と低くなっています。総数は過去最多であっても、各党の姿勢にはばらつきがありました。

自公で女性が少ないので、自公が勝つと3割は厳しいし、積極的に擁立している都民ファなどが勝つと3割になる可能性高まるわけです。

### ■自公が女性候補擁立に消極的な背景は

自公が女性候補擁立に消極的な背景にはなにがあるのか、佐藤圭一政治部長は、以下のように分析します

「自民党でも女性国会議員を中心に女性の候補者を増やすよう求める動きはありますが、なかなか進んでいません。一言で言えば『しがらみ』。地元で政治活動を続けている勝てそうな有力な候補者がいる場合、その人を外して女性に替えるということはなかなかできません。その証拠に、野党が強い選挙区では女性候補を立てるケースはよくあります。今回の都議会議員選挙の場合、前回4年前に小池旋風にあおられて落選した候補者が復活を目指して、リベンジで立候補しているケースも多く、なかなか女性候補に替えるということができなかったのではないのでしょうか」

### ■女性議員“3割”で都議会に変化はあったのか

女性議員が3割近くに増えたことで、都議会では変化があったのでしょうか。

ある女性都議は、「議会に当事者の視点が入るようになった」と話しています。もちろん男性議員でも子育て政策に尽力しますが、そこに女性が入ることで、当事者だからこそ気づいた視点が入っていったといいます。

2017年、都議会では会議規則が改正され、議員の欠席理由に「家族の看護や介護」が追加されました。子育て中の女性議員が子どもの急な病気などで休みがとりやすくなったそうです。これも女性議員が3割になったことで議会活動の環境づくりが進んだともとれます。

■政治が足を引っ張る日本のジェンダーギャップ指数...今後はあらためて日本のジェンダーギャップ指数を見てみると、総合順位は156か国中120位ですが、分野ごとに見ると、教育：92位、健康：65位、経済：117位、政治：147位。特に政治が足を引っ張っています。

2018年施行された「候補者男女均等法」は、国会や地方議会の選挙で、男女の候補者数をできる限り均等にしよう政党に求めています。均等、つまり半数を女性にということです。

しかし、努力目標にすぎず、女性候補を3割にすることすらできない政党が多く、いまの政治が抱える問題でもあります。秋ままでに行われる衆院選で、政党が女性候補者を増やす努力をどこまで本気でするのか、試されます。

### 自民党幹部「惨敗だ」危機感あらわ 都議選

NNN2021年7月5日 01:18

東京都議会議員選挙は開票が進められ、自公を合わせた議席は、過半数に届かないことが確実となりました。中央政界の反応を、柳沢高志が中継で伝えます。

全文を読む

東京都議会議員選挙は開票が進められ、自公を合わせた議席は、過半数に届かないことが確実となりました。中央政界の反応を、柳沢高志が中継で伝えます。

◇

今回の選挙は、秋ままでに行われる衆議院選挙の前哨戦と位置づけられていただけに、自民党幹部は「惨敗だ。立て直さなければならない」と危機感をあらわにしました。

自民党・山口選対委員長「自公で過半数割れということが確実になった。どこが足らなかったかということを探査して、(来るべき)衆院選に臨んでいかなければならない」

自民党では、当初、50議席以上を狙えるとの調査結果もあり、楽観的なムードが広がっていましたが、結局、前回より議席は増やしたものの、伸び悩む結果となりました。

自民党幹部は、「新型コロナの感染拡大と東京オリンピックへの懸念が逆風となった。また、小池都知事が静養したことで、同情票が流れてしまった」と分析しました。

また、衆院選に向けて自民党中堅議員は、「菅総理で選挙の顔になるのか、という声がかかるだろう」と語るなど、党内には危機感が高まっていて、菅総理には今後どう立て直しを図るか、難問が突きつけられた形です。

一方、立憲民主党と共産党は、今回、多くの選挙区で候補者の競合を避ける事実上の選挙協力が行われました。

共産党関係者は、「衆院選に向けて野党共闘に大きな意味のある選挙となった」と語りました。

### 共産、衆院選共闘に前向き＝都議選踏まえ、立民は慎重対応

読売新聞 2021/07/06 07:28



© 時事通信 提供 都議選から一夜明けて、記者会見する共産党の志位和夫委員長＝5日午後、東京都渋谷区の同党本部

東京都議選の一部選挙区で候補者調整を行った立憲民主、共産両党はそれぞれ議席を増やした。共産は都議選の共闘を「両党にとっての成果」ととらえ、次期衆院選でも立民との選挙協力を目指す。しかし、立民は支持団体の連合が共産との共闘に否定的な立場のため、国民民主党などとの協議を先行させたい考えだ。

「双方が議席を伸ばした。共闘にこそ野党が今の政治を変える力を持つための王道がある」。5日の記者会見で、共産党の志位和夫委員長は都議選の共闘の成果を強調した。立民は15議席、共産は19議席にそれぞれ増やす結果となり、小池晃書記局長も会見で「(立民と)一気に話し合いを始めたい」と述べ、党首会談の早期開催にも意欲を示した。

都議選の候補者調整は、立民都連と共産都委員会が主導して実現。選挙戦でも、共産候補の街頭演説で志位氏と立民参院議員が並んで臨むなど、両党の相互支援も深まった。

立民側からも都議選の共闘を評価する声が出ている。安住淳国対委員長は5日、選挙結果について「野党が一つに固まれば政権交代も現実味を増す」と強調。共産との連携についても「如実に成果は出ている」と指摘した。

しかし、連合は共産と距離を置く民間労組を抱え、「共産とは閣外協力もあり得ない」(神津里季生会長)との立場を堅持。このため今後、両党の全国規模での共闘が成就するかは不透明だ。

こうした連合の意向に配慮してか、立民の福山哲郎幹事長は5日未明、記者団の取材に応じ、「(協議は)まずは国民、社民両党とする。その後共産とどのような形でやれるか調整したい」と述べ、共産との協議の先送りを示唆した。立民関係者も「悩ましい。都議選での連携と政権選択の衆院選では話は別だ」と漏らした。

### 共産・立憲、都議選共闘手応え 志位氏「協議進めたい」

朝日新聞デジタル 2021年7月5日 1時10分



当選確実の報を受け、支持者と共に万歳する共産の大山とも子氏(中央)＝東京都新宿区住吉町



4日に投開票された都議選。衆院選を見据えて一部選挙区で候補者調整をし、共闘態勢をとった共産と立憲民主は議席を伸ばし

た。

共産は告示前の 18 議席を上回る 19 議席に。2013 年、17 年に続く伸長ぶりだ。共産の志位和夫委員長は党本部で「多くのところで自民党と競り合った末の重要な勝利。今後の野党共闘について、立憲とも協議を進めたい」と語った。

コロナ禍での東京五輪開催に疑問を抱く有権者の受け皿になるろうと、いち早く今夏開催の「中止」を公約に掲げた。

立憲も現有 8 議席から大幅に議席を増やして 15 議席に。党本部別館では当選確定となった名前が次々にパネルに貼られていった。都連の長妻昭会長は「議席を伸ばして、都議会で役割を果たせる最低限の陣立てができた。しっかりと都政運営に取り組みたい」と意気込んだ。

選挙戦では、第 1 党の都民ファーストを「知事に物を言えないイエスマン」と批判。「都政をチェックできる都議会」の実現を訴えた。

### 共産、共闘協議の進展に期待 衆院選へ立民は警戒も

2021/7/5 19:08 (JST)7/5 19:23 (JST)updated 共同通信社



記者会見する共産党の小池書記局長＝5 日午前、国会

共産党は東京都議選で立憲民主党との連携が奏功したとして、次期衆院選の共闘態勢構築に向けた協議の進展に期待を寄せた。共産の志位和夫委員長は 5 日、東京都内で街頭演説し「都議選で立民と候補者調整し、自民党を追い詰めた。衆院選も共闘を成功させ、野党連合政権をつくる」と訴えた。ただ野党連合政権構想に対する立民側の警戒は根強く、思惑通り進むかどうか見通せない。

共産の小池晃書記局長は記者会見で「衆院選に向けた話し合いを始めたい」と語った。一方、立民の枝野幸男代表はこれまでに共産との連立政権を否定。接戦区での候補者一本化が最優先課題だ。

### 立憲、共産との共闘「如実に成果出た」 安住国対委員長

朝日新聞デジタル 2021 年 7 月 5 日 12 時 31 分



東京都議選の投開票から一夜明け、記者団の取材に応じる立憲民主党の安住淳国会対策委員長＝2021 年 7 月 5 日午前、国会内

4 日に投開票された東京都議会議員選挙（定数 127）の結果を受けて、立憲民主党の安住淳国会対策委員長は 5 日、国会内で記者団の取材に応じ、共産党との候補者調整について「如実に成果

が出た」と振り返った。今秋までに開かれる衆院総選挙についても「野党が一つになって固まれば、政権交代も現実味を増した」と述べた。

今回の都議選では、一部の選挙区で立憲と共産は候補者を調整し、共闘態勢で臨んだ。安住氏は「政権交代選挙になれば、基本政策をこれから早急に整理をしないとイケない」としつつ、「(候補者調整した)中野区や武蔵野市は突き抜けてトップになっている。一本化したところではトップ当選をするという構図が見えた」と評価した。

### 立憲と共産、都議選の共闘に手応え「1 対 1 にすれば」

朝日新聞デジタル北見英城、鬼原民幸、横山翼 2021 年 7 月 5 日 19 時 39 分



東京都議選の投開票から一夜明け、記者団の取材に応じる立憲民主党の安住淳国会対策委員長＝2021 年 7 月 5 日午前、国会内



4 日に投開票された東京都議選で、立憲民主党と共産党が候補者を一本化した 21 選挙区（無投票を除く）のうち 12 選挙区で当選を果たし、「共闘」が一定の成果を出した。立憲を支援する連合には異論もあるが、今秋までにある衆院選に向けて、自民党よりも自力に劣る立憲内には、共産との共闘を求める声がいっそう強まっている。

「これだけ自民に対する批判票が国民の中にある。（野党候補を）一本化して 1 対 1 の構図にすれば、票が来る可能性は広がった」

立憲の福山哲郎幹事長は 5 日未明の記者会見で、国民民主、社民両党とも連携して、共産との候補者調整に乗り出す考えを示した。

今回の都議選で、立憲、共産は 1～3 人区の約 8 割で候補者を一本化した。結果、立憲の公認・推薦候補は 7 勝 2 敗だった。さらに勝利した 7 選挙区ではいずれもトップ当選だった。

立憲、共産が競合して共倒れになってしまった 4 選挙区についても、一本化していれば、あわせた得票が当選圏に入っていた。

次の衆院選に向けて、立憲と共産は現在、約 70 の小選挙区で候補者が競合している。立憲の枝野幸男代表は 4 月の衆参補選・再選挙が終わった後、共産の志位和夫委員長との会談で「一本化に向けた協力のあり方について話し合いを始めたい」と伝えたが、具体的な動きは進んでいない。

志位氏は 5 日の記者会見で、都議選で双方の国会議員らが応

援演説に入ったことに触れ、「一本化にとどめず、相互に支援していく共闘にしたい」と踏み込んだ。新型コロナウイルス対策やジェンダー平等などを例に、共闘の旗印にしたい考えも示した。

ただ、立憲の支持団体である連合内には、共産との共闘に根強い異論がある。

連合東京の幹部は「共産の議席を維持する片棒を担いだ」と述べ、共産との一本化を進めた立憲都連の対応を批判する。枝野氏も都議選前、連合の会合に出席した後、連合に気遣ってか、「共産との連立政権は考えていない」と記者団に語るなど、共産色を薄めようと躍起になっていた。

しかし、立憲の重鎮議員は枝野氏の発言について、「野党第1党の立憲が、共産より都議選で議席をとれていないのが現実だ。勝っていない中で言っても、悪態をついている子どもみただ」と冷ややかだ。

安住淳国会対策委員長も、連合東京が候補者全員を推薦や支援した国民民主党が議席を獲得できなかったことに触れ、「冷静に結果を見ないと。リアルパワーは何なのかを見ないと」と語り、共産と基本政策などの調整を急ぐ必要があるとの考えを示した。（北見英城、鬼原民幸、横山翼）

### 衆院選、野党間調整に意欲 躍進の立憲民主・福山哲郎幹事長<都議選>

東京新聞 2021年7月5日 01時54分

東京都議選で当選確実となった候補者のプレート掲げる立憲民主党都連の手塚仁雄幹事長（左）と長妻昭会長＝東京・永田町で

現有8議席から躍進した立憲民主党。永田町の党本部別館では、当選確実となった候補者のプレートが並べられた。5日午前零時すぎ、記者会見した福山哲郎幹事長は「都議会でチェック機能を果たしていく一定の基盤ができた。都政で存在感を示していきたい」と述べた。

自公の過半数割れについては「自民党に対する厳しい評価の表れで、批判票が立憲民主と共産、都民ファに投じられた」と分析。秋までに行われる衆院選に向け「大きな弾みとは言えないが可能性が広がった」とし、野党間の候補者の調整に意欲を示した。（小嶋麻友美）

### 立民・安住氏、連合東京より共産が「リアルパワー」

読売新聞 2021/07/05 21:25



© 春名中 立民・安住氏、連合東京より共産が

「リアルパワー」

立憲民主党の安住淳国会対策委員長は5日、国会内で記者団に、同党が15議席を獲得した東京都議選では共産党との候補者一本化が奏功したとの認識を示した。一方、国民民主党の候補4人が全員落選したことを踏まえ「リアルパワーは何なのかを冷静に見な

ければ」と指摘し、共産との協力を強く否定してきた国民や連合東京に苦言を呈した。

連合東京は、立民と国民の支持団体である連合の地方組織。安住氏は共産との協力に関し、候補者を一本化してトップ当選した武蔵野市や中野区の例を挙げて「如実に成果が出た」と強調。次期衆院選でも政権批判票の受け皿として一本化を進めるべきだと訴えた。

一方、連合東京について「こういう結果が出ている。国民は何議席を取ったのか。（連合東京が）担いだんじゃないの」と皮肉り、共産に勝る「リアルパワー」を有していないとの考えを示した。国民民主に対しては「玉木君（玉木雄一郎代表）も真剣に考えざるを得ないだろう。政権選択選挙（衆院選）は与党なのか野党なのか曖昧だと埋没する」とクギを刺した。

### 立民・安住氏、連合東京より共産が「リアルパワー」 支持団体に苦言

産経新聞 2021.7.6 06:30

立憲民主党の安住淳国会対策委員長は5日、国会内で記者団に、同党が15議席を獲得した東京都議選では共産党との候補者一本化が奏功したとの認識を示した。一方、国民民主党の候補4人が全員落選したことを踏まえ「リアルパワーは何なのかを冷静に見なければ」と指摘し、共産との協力を強く否定してきた国民や連合東京に苦言を呈した。

連合東京は、立民と国民の支持団体である連合の地方組織。

安住氏は共産との協力に関し、候補者を一本化してトップ当選した武蔵野市や中野区の例を挙げて「如実に成果が出た」と強調。次期衆院選でも政権批判票の受け皿として一本化を進めるべきだと訴えた。

一方、連合東京について「こういう結果が出ている。国民は何議席を取ったのか。（連合東京が）担いだんじゃないの」と皮肉り、共産に勝る「リアルパワー」を有していないとの考えを示した。国民民主に対しては「玉木君（玉木雄一郎代表）も真剣に考えざるを得ないだろう。政権選択選挙（衆院選）は与党なのか野党なのか曖昧だと埋没する」とクギを刺した。

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

### 都議選 共闘は「如実に成果」 立民・安住氏が評価

立憲民主党の安住淳国会対策委員長は5日、国会内で記者団の取材に応じ、東京都議選での市民と日本共産党など野党との共闘について「如実に成果が出た」と評価しました。秋までに実施される総選挙については、「野党が一つになって固まれば、政権交代が現実味を増した」と述べました。

都議選で自民党と公明党が目標としていた過半数に届かなかった結果について、安住氏は「五輪の対応やコロナ対応についての政権の評価がある程度如実に出た結果ではないか」と語りました。

その上で、今回共闘した中野区や武蔵野市の選挙区などではトップ当選を果たしたとして「一本化したところにまとまって票が入り、トップ当選というパターンが一つ見えた」と指摘。総選挙に向けて今回の結果は「非常に示唆に富んでいる」と述べ、「総選挙で政権交代となれば国を動かすための基本政策を早急に整

理しないといけない」とも話しました。

### 立憲民主・安住氏 共産との協力「如実に結果出た」

JNN2021年7/5(月)15:50 配信

立憲民主党の安住国対委員長は、東京都議選で行った共産党との候補者調整について「如実に結果は出た。国政でも十分、参考にしないといけない」と述べました。4日投開票が行われた東京都議選では、立憲民主党と共産党が一部の選挙区で候補者を一本化するなどの調整を行い、それぞれ議席を伸ばしました。「一方で（調整を）やったところに関してはもう如実にその成果は出てますので、これは国政においても、十分この結果というのは参考にしないといけない」（立憲民主党 安住淳国対委員長）安住氏はこのように述べ、今年秋までに行われる衆院選についても野党候補の一本化の必要性を強調しました。共産党の小池書記局長も「立憲民主党との間で候補者調整を行ったことが、非常に大きな成果を挙げた」と指摘。衆院選の候補者一本化に向け、立憲民主党などと早急に協議を始めたいとの意向を示しました。（05日14:13）

### 立民・福山氏 衆院選「野党一本化でまとまった票」

日経新聞 2021年7月5日 1:38 [有料会員限定]



記者会見する立民の福山哲郎幹事長

立憲民主党の福山哲郎幹事長は5日未明の記者会見で、衆院選での共産党などとの選挙協力について「野党が一本化して候補者を立てれば、まとまった票が来る可能性がある」と述べた。候補者調整に取り組む姿勢を示した。福山氏は「国民民主党と社民党とまずは選挙区調整してぶつからないようにしたい」と話した。「共産党とも全部は無理だろうがいくつかを調整する」と強調した。都議選での自民党の獲得議席の伸び悩みについて「自民党への批判があるのは間違いない」と語った。

### 立民「候補一本化へ調整」 共産党と共闘に一定の手応え

日経新聞 2021年7月4日 20:00 (2021年7月5日 1:19 更新)



野党4党の党首（6月14日、国会内）

今回の都議選で立憲民主党と共産党は定数1~3の選挙区の一部で公認候補が重ならないよう調整した。立民の福山哲郎幹事長は5日未明の記者会見で、衆院選について「野党が一本化して候補者を立てればまとまった票が来る可能性がある」と話した。立民の長妻昭副代表は4日夜の記者会見で衆院選に関して「（与野党）一騎打ちの構図に持っていくことが一つの大きな命題」と強調した。

共産党の志位和夫委員長は同日夜のNHK番組で、立民との関係を巡り「都議選を通じて共闘が進んだ」と述べた。

都議選の1人区は全部で7あった。立民と共産党はうち6選挙区で事実上の選挙協力をした。野党間で票が分散して共倒れすることを防ぐためだ。

立民が候補を立てた2選挙区で共産党は見送り、共産党の候補がいた3選挙区に立民は擁立しなかった。両党が無所属候補を推薦した選挙区もあった。6選挙区のうち立民と無所属が立った2選挙区で議席を取った。共に前回は都民ファーストの会が勝った選挙区だ。

複数区の一部でも候補のすみ分けをした。立民候補がいない選挙区で、立民の衆院選の予定候補が共産党候補を応援した場面もあった。長妻氏は「一定のすみ分けは結果としてできあがった部分もある」と説明した。

2012、14年の衆院選で共産党はほぼすべての小選挙区に候補者を立てた。前回の17年は旧民主党系が立民と希望の党に分裂した上、共産党も200人ほど擁立した。いずれも野党内の候補者調整は限定的だった。

次期衆院選では289の小選挙区のうち、共産党の予定候補は現在124人。17年に立民が結党してから野党共闘が選挙や国会の場面で進んだ。共産党内では「共闘で小選挙区で勝つことと、比例代表の票の掘り起こしの両立を考えた」との声がある。

立民、共産、国民民主、社民の野党4党は200程度の小選挙区で候補者を一本化している。立民が共産党、国民民主党などと競合する小選挙区は70ほどだ。

もしさらに候補を一本化すれば、自民、公明両党の候補と競る可能性がある選挙区もでてくる。

### 立民副代表、衆院選「与野党一騎打ちに」 野党協力念頭

日経新聞 2021年7月4日 23:35

立憲民主党の長妻昭副代表（都連会長）は4日の記者会見で、秋までに実施される衆院選に向けて野党で選挙協力を進める方針を示した。「（与野党が）一騎打ちの構図に持っていくことが1つの大きな命題。知恵を出して取り組んでいく」と述べた。



記者会見する立憲民主党の長妻昭

都連会長（右）ら（4日夜、東京都千代田区）=共同

4日投開票の都議選で、立民と共産党は1~3人区の多くで候補者の競合を避け、事実上の選挙協力をした。長妻氏は選挙前の立民の議席数が少なかったため「擁立しても当選に届かない地区も相当数あった。（共産党との）一定のすみ分けは結果としてできあがった部分もある」と説明した。

### 共産委員長、立民と協力「効果をあげた」 都議選

日経新聞 2021年7月5日 0:05

共産党の志位和夫委員長は4日夜、都議選での立憲民主党との協力について「かなり効果をあげている」と指摘した。「都議選

を通じて共闘が進んだ」とも述べた。NHK 番組で語った。



東京都議選で当選を決めた候補者の名前に花を付ける共産党の小池晃書記局長（右から2人目）4日夜、東京都渋谷区の党本部で共同  
今回の都議選で立憲民主党と共産党は、定数1〜3の選挙区の一部で公認候補を重ならないように擁立した。志位氏は衆院選で野党が共闘する場合の政権構想の協議に関して「都議選が終わったら、前に進むように取り組みたい」と話した。

### 京都1区に元総務官僚擁立 自民府連

時事通信 2021年07月04日 16時38分

自民党京都府連会長の西田昌司参院議員は4日、府庁で記者会見し、次期衆院選京都1区に、新人で総務省官僚だった勝目康氏（47）を擁立すると発表した。同区選出の伊吹文明元衆院議長

の不出馬表明を受け、後継候補を調整していた。勝目氏は京都市出身で東京大法卒。1997年に自治省（現総務省）に入り、官房副長官秘書官や京都府総務部長などを経て、総務省地域振興室長を務めていた。同日付で同省を退職した。

### 衆院京都1区に元総務官僚 自民擁立、伊吹文明氏の後継

2021/7/4 17:25 (JST)共同通信社



京都市内で記者会見する勝目康氏。右は

伊吹文明元衆院議長＝4日

自民党京都府連の西田昌司会長は4日、京都市内で記者会見し、次期衆院選京都1区に出馬しない意向を表明した伊吹文明元衆院議長（83）の後継として、総務省地域振興室長の勝目康氏（47）＝4日付で退職＝を擁立すると発表した。

勝目氏は京都市出身。東京法学部を卒業し、1997年に旧自治省に入った。2017年7月から3年間、京都府庁に出向し、総務部長などを務めた。

### 伊吹氏後継に元総務官僚の勝目氏擁立 京都1区で自民府連

京都新聞 2021年7月4日 11:42



勝目康氏

自民党京都府連は4日、次期衆院選の京都1区に立候補せず、今期限りでの政界引退を表明した伊吹文明元衆院議長（83）の後継として、元総務省地域自立応援課地域振興室長の勝目康氏

（47）＝同日付で退職＝を擁立すると発表した。

府連が京都市上京区の府庁で開いた会見で、勝目氏は「（総務省で）国と地方行政の最前線にいた立場から、新型コロナウイルスの収束と経済再生に取り組んでいきたい」と述べた。

勝目氏は京都市出身で東京大卒。1997年に自治省（現総務省）に入省し、財務調査課理事官や消防庁総務課理事官を経て、2017年から20年まで京都府で府民生活部長、総務部長を務めた。

京都1区では、伊吹氏が先月28日に政界引退を表明。後継選びは伊吹氏が主導する形で、京都ゆかりの官僚を軸に選考してきた。

会見に同席した伊吹氏は勝目氏を選んだ理由について「単にお役人というだけでは駄目で、財政や地方行政に通じていないといけない」と語り、経歴を評価したと説明。また、京都市出身であることから「地縁血縁がしっかりしている」とも述べた。

京都1区では、共産党現職の穀田恵二氏（74）と日本維新の会の新人堀場幸子氏（42）が立候補を予定している。

### 自民京都府連衆院京都1区に勝目康氏 伊吹文明元衆院議長の後継

KBS 京都 2021年7月4日 18:00



自民党京都府連は、衆議院京都1区に総務省地域振興室長の勝目康氏を擁立すると発表しました。自民党京都府連は、4日午後、京都市内で記者会見を開き、西田昌司会長が今期限りでの政界引退を表明した伊吹文明元衆議院議長の後継として、次期衆議院選挙京都1区に総務省地域振興室長の勝目康さんを擁立すると発表しました。勝目氏は、京都市出身で東京大学法学部を卒業。1997年に現在の総務省である自治省に入省しました。2017年7月から3年間、京都府庁に出向し、府民生活部長や総務部長を務めました。自民党京都府連は、伊吹氏の政界引退を受けて、京都にゆかりがある官僚を軸に後任の選考を進めていました。勝目氏は「元氣な京都、元氣な日本を創っていく。そのために政治を前に進めていくという思いで、努めて参りたい」と語りました。京都1区には、共産党・現職の穀田恵二氏と日本維新の会・新人の堀場幸子氏が立候補を予定しています。

## 衆議院京都1区 自民 勝目康氏が立候補表明

NHK07月05日 19時27分

ことし秋までに行われる衆議院選挙の京都1区に、総務省の地域振興室長や京都府の総務部長を務めた勝目康氏が自民党から立候補することを表明しました。

勝目氏は4日、京都市内で記者会見を開いて立候補を表明しました。

勝目氏は京都市出身の47歳。

平成9年に旧自治省に入省し総務省の地域振興室長などを歴任し、平成29年からおよそ3年間、京都府で総務部長などを務めました。

勝目氏は「国と地方の最前線に立ってきた立場から、新型コロナの収束と経済・社会の再生を強く訴えていきたい」と述べました。衆議院京都1区では自民党の現職の伊吹文明氏が次の衆議院選挙に立候補しないことを明らかにしていました。

京都1区には、▼共産党の現職の穀田恵二氏と▼日本維新の会の新人の堀場幸子氏が立候補を予定しています。

## 衆院選、自民総裁選後も選択肢 ワクチン進展必要—山口公明代表

時事通信 2021年07月06日00時25分



山口那津男 公明党代表

公明党の山口那津男代表は5日のBS日テレ番組で、衆院解散・総選挙のタイミングとして秋に想定される自民党総裁選後とするのも選択肢との考えを示した。「総裁選後に総選挙の方が国民の気持ちに合うか」と問われ、「その方が望ましいかもしれない」と答えた。

山口氏はまた、「新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで(各党が)活動できるようになっていけば望ましい選挙の環境になる。有権者に訴えを浸透させる環境が整っていることが大事だ」と指摘。ワクチン接種が相当程度進んでから衆院選を行うべきだとの考えを示した。

## 菅首相「謙虚に受け止める」 都議選、自民伸びず

時事通信 2021年07月05日11時50分



東京都議選から一夜明け、記者団の質問

に答える菅義偉首相＝5日午前、首相官邸

菅義偉首相(自民党総裁)は5日午前、東京都議選で自民、公明両党が過半数に届かなかったことについて、「謙虚に受け止めていただきたいと思います」と述べた。その上で「(自民党は)前回の選挙と比較して8議席伸び、第1党になった。自民党として都政の発展のために、都民のために、その責任感の下に全力で取り組んでいきたい」と強調した。首相官邸で記者団の質問に答えた。

自民党は過去2番目に少ない33議席にとどまった。首相は「要因はいろいろあると思うが、まず(党)都連と本部が連携し、冷静に期間を置いてしっかり分析して次に備えていきたい」と語った。

東京五輪の観客受け入れの判断については「(国や都などによる)5者協議で最終的に方向性を決める」と重ねて指摘。東京などに適用中の新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置に触れ、11日までの期限を延長するかに関し「結論も早々に出さなければならない。全体を考えながら進めていきたい」と述べた。

## 都議選、首相「謙虚に受け止め」 自民に都民ファア拮抗、共・立は増

2021/7/5 11:25 (JST)/7/5 11:39 (JST)updated 共同通信社



首相官邸で記者団への取材対応に臨む菅首相＝5

日午前

4日の東京都議選は自民党が33議席を獲得して第1党を奪還しながら、小池百合子知事が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」が僅差の31議席で拮抗した。菅義偉首相は一夜明けた5日、「自公で過半数を実現できなかったことは謙虚に受け止めていただきたいと思います」と述べた。共産党と立憲民主党もそれぞれ議席数を上積みし、都幹部は新たな議会構成による新型コロナウイルス対策などへの影響を注視する考えを示した。

菅首相は官邸で記者団の取材に「冷静にしっかり分析して次に備えたい」とし、第1党は自民党であることに「都政、都民のために全力で取り組みたい」と語った。

## 【都議選2021】自公過半数ならず、首相の求心力低下必至... 自民に危機感「国政1強の緩み出た」

読売新聞 2021/07/05 11:49



都議選の結果を受けて、記者の質問に答える菅首相(5日午前9時56分、首相官邸)＝源幸正倫撮影

東京都議選(定数127)の開票から一夜明けた5日午前、菅首相は目標に掲げた自民、公明両党合わせての過半数(64議席)に届かなかったことについて、「謙虚に受け止めたい」と首相官邸で記者団に語った。与党は秋に想定される衆院選に向け、選挙結果の分析を急ぐ考えだが、首相の求心力の低下は必至だ。

自民は33議席を得て、地域政党・都民ファーストの会(31議席)を僅差で上回り、第1党を奪還したが、歴史的惨敗となった2017年の前回選の23議席に次ぐ、過去2番目に少ない議席となった。

首相は選挙結果について、「要因はいろいろあると思うが、冷静に期間を置いて、しっかりと分析して、次に備えていきたい」

と述べた。

自民内では、危機感が広がっている。石破茂・元幹事長は「前回の惨敗の反省が生きていない。(国政で) 自民の1強体制が続いていることによる緩みが出た」と指摘した。閣僚経験者は「自公で過半数という勝敗ラインを下回った。執行部の責任はある」と語った。

一方、立憲民主党と共産党は一部選挙区で候補者調整を行った結果、共に議席を積み増した。立民の安住淳国会対策委員長は記者団に「(選挙協力の) 成果が出た。国政でも十分参考にしなければならない」と衆院選での共産との協力を積極的な考えを示した。共産の小池書記局長も記者会見で「候補者調整が非常に大きな成果を上げた」と強調した。

### 都議選 自公で過半数届かず 菅首相「謙虚に受け止めたい」

NHK2021年7月5日 11時05分

東京都議会議員選挙で、自民党は第1党となったものの、公明党と合わせて過半数には届かなかったことについて、菅総理大臣は「謙虚に受け止めたい」と述べたうえで、自民党として、都政の発展のために全力で取り組む考えを示しました。

東京都議会議員選挙で、自民党は第1党となったものの、公明党と合わせて目標としていた過半数には届かず、過去2番目に少ない33議席にとどまりました。

菅総理大臣は、総理大臣官邸で記者団に対し「都民の皆さんに約束して戦った、自民党と公明党で過半数を実現できなかったことは、謙虚に受け止めたい」と述べました。

そのうえで「前回の選挙と比較して8議席伸ばし、第1党になった。自民党として、都政の発展のため、都民の皆さんのため、その責任感のもとに全力で取り組んでいきたい。要因はいろいろあると思うので、まず、党の東京都連と党本部が連携しながら、冷静に期間をおいて分析し、次に備えたい」と述べました。

一方、東京オリンピック・パラリンピックをめぐる、記者団が「無観客を訴えた都民ファーストの会が自民党に肉薄し、中止を訴えた共産党も議席を伸ばしたが」と質問したのに対し「5者協議の中で、主催者の東京都と政府、組織委員会、さらにIOCやIPCで最終的に方向性を決めると前から決めているので、選挙の結果にかかわらず、日程は決めている。まん延防止等重点措置についての結論も早々に出さなければいけないと思っているので、全体を考えながら進めていきたい」と述べました。

### 菅首相 都議選 “非常に厳しい結果” ワクチン接種加速に全力

NHK2021年7月5日 18時42分



4日の東京都議会議員選挙について、菅総理大臣は自民党の下村政務調査会長と会談し、自民党にとって厳しい結果だったという認識で一致したうえで、国民の不安の払拭(ふっしょく)に向けて、新型コロナウイルスのワクチン接種の加速に全力で取り組む考えを示しました。

菅総理大臣は5日午後、総理大臣官邸で、自民党東京都連の最高顧問を務める下村政務調査会長と会談し、下村氏が4日の東京都議会議員選挙について「非常に厳しい結果だった」と述べたのに対し、菅総理大臣も同様の認識を示しました。

そのうえで、菅総理大臣は「とにかくワクチン接種を急ぎたい。1人でも多くの方が、できるだけ早くワクチンを接種できるような状況をつくることに専念したい」と述べ、国民の不安の払拭に向けて、新型コロナウイルスのワクチン接種の加速に全力で取り組む考えを示しました。

また、下村氏は、新型コロナウイルスによって非正規で働く人などへの影響が長期化しているため、最低賃金の引き上げが必要だとして党内で具体的な議論を進めていることを報告し、菅総理大臣は「きちんとまとめてもらいたい」と応じました。

下村政調会長「コロナ対策への不安と不満が投票行動に」



下村政務調査会長は、記者団に対し「多くの都民の新型コロナウイルス対策への不安と不満が投票行動にあらわれたと思う。同時に、感染者が増えつつある中で、東京オリンピック・パラリンピックも、どの程度観客を入れ、どんな大会にするか見えず、いらだちや不安、不満が予想外の厳しい結果につながったと受け止めている」と述べました。

### 小池都知事 自民 二階幹事長と会談 都民に必要な施策で連携

NHK2021年7月5日 18時21分



東京都の小池知事は自民党の二階幹事長と会談し、4日の都議会議員選挙の結果を受けて、新型コロナウイルス対策など都民に必要な施策を連携して進めていくことで一致しました。

4日の都議会議員選挙で、自民党は第1党となったものの過去2番目に少ない議席数で、目標としていた自民・公明両党での過半数に届かなかった一方、都民ファーストの会は議席を減らしたとはいえ自民党とは2議席差で第2党となりました。

小池知事は5日午後、自民党本部を訪れて二階幹事長と会談したあと、記者団に対し「都と都議会は両輪なので、コロナの情勢や経済の問題についてしっかりと『オール東京』で進めていくことを共有した。二階幹事長からは『都民のために必要な対策をもっと進めていこう』という話があった」と述べました。

また小池知事は、みずから特別顧問を務める都民ファーストの会の選挙結果について「都民の判断が投票の数であらわれた。都民ファーストの会の議員がこの4年間、議員提案で条例をつくったり、地元での活動を重ねてきたりした結果が今回の議席数につながった」と述べました。

一方、記者団が「今回の選挙の結果を受けて、国政に転身する考えはあるか」と質問したのに対し、小池知事は「私はそういう意

思を一度も言ったことがない。なぜ皆さんがそのように書くのかよく理解できない」と述べ、不快感を示しました。

## 都議選で自民「事実上惨敗」 小池氏が二階氏と面会

ANN2021/07/05 18:35

瞬間的な小池劇場は起きていたのでしょうか。東京都議会選挙は自民党が第1党となったものの、都民ファーストが2議席差に迫りました。こうしたなか、小池都知事が5日午後、自民党の二階幹事長のもとを訪れました。

秋までに行われる衆議院選挙の前哨戦となった東京都議選。 「自民党の圧勝」との見方もありましたが、ふたを開けてみれば票が伸びませんでした。

感染の再拡大が懸念されている東京。ここに来てブレーキが掛かったワクチン接種。観客をどうするのか決まらないオリンピック・パラリンピック。

自民党は33議席を獲得して第1党となったものの、選挙協力を結ぶ公明党と合わせても過半数の64議席に届きませんでした。

別の閣僚からは「菅総理大臣のもとで衆院選は戦えない」との厳しい声が出ています。

一方、苦戦が予想された「都民ファーストの会」には、選挙戦最終日にサプライズで小池知事が応援に駆け付けました。オリンピック・パラリンピックの無観客開催を公約に掲げた都民ファーストの会は議席を減らしたものの、自民党とは2議席差の第2党に踏みとどまりました。

今回の都議選では自身が特別顧問を務める都民ファーストの会への応援を明確にしなかった小池知事。最終日に応援に入るも演説はなく、選挙後の議会運営を見据えて自民党と公明党に配慮しているのではとの見方もあります。

小池知事は午後、自民党の二階幹事長と会談。今後の協力関係を確認しました。

一方、一部選挙区で候補者を調整した共産党と立憲民主党は議席を増やし、共闘態勢に手応えを感じています。

今回の都議選で当選した女性候補者は過去最多の41人。これで都議会の約3割が女性議員となります。

## 小池都知事 公明・山口代表と会談 都政安定に協力呼びかけ

NHK2021年7月5日 15時50分



東京都議会議員選挙を受けて、東京都の小池知事は、公明党の山口代表と会談し、安定した都政の運営に向けて、引き続き協力を呼びかけるとともに、新型コロナウイルス対策に連携して取り組んでいくことを確認しました。

4日の東京都議会議員選挙では、自民・公明両党は目標とする過半数に届かなかった一方、都民ファーストの会は議席を減らし、自民党と2議席差の第2党となりました。

こうした中、小池知事は5日午後、公明党本部を訪れて山口代表と会談し、安定した都政運営に向けて、引き続き公明党の協力を

呼びかけました。

これに対し山口代表は「これまでと同様、合意形成を図るため、連携できるところは連携する姿勢だ」と応じました。

また、両氏は、東京都で新型コロナウイルスの感染状況が再び悪化していることを踏まえ、収束に向けて連携して取り組んでいくことを確認しました。

## 自民「誤算」動いた小池氏 衆院選に危機感

NNN2021年7月5日 18:53

東京都議会議員選挙で自民党は、都議会第一党となりましたが、次の衆議院選挙の顔としての菅総理大臣を不安視する声があがっています。

全文を読む

東京都議会議員選挙で自民党は、都議会第一党となりましたが、次の衆議院選挙の顔としての菅総理大臣を不安視する声があがっています。

◇◇◇

自民党にとって予想外の結果となった都議選。5日、菅総理は、菅総理「都民の皆さんにお約束して戦った自公で過半数、このことを実現できなかったことは謙虚に受けとめさせていただきたい。冷静に期間をおいて、しっかり分析をして次に備えていきたい」

当初、自民党内では「単独で50議席以上」との楽観論もありましたが、ふたをあけてみると33議席。自民党の失速により自公で過半数の64議席にも届きませんでした。

自民党・山口選対委員長「うちも調査をして、水曜・木曜までぐらいにはそれなりにだったんですが、金曜・土曜でかなり逆転した」

金曜・土曜の「逆転劇」。その時、動いていたのが小池知事です。今月2日。

小池都知事「どこかでばたっと倒れてるかもしれませんが、それも本望だと思ってやりぬいていきたい」

コロナ対策への覚悟を語り、3日、都民ファースト陣営の16選挙区を電撃訪問。選挙後に自公の協力が必要な小池知事は動けなだろうと考えていた自民党。大きな誤算でした。

日本テレビと読売新聞が行った出口調査から分析すると、投票の際に重視した問題にコロナ対策をあげた人に小池都政について聞いたところ、評価すると答えた人は66%。コロナ対策を含む都政運営が評価されていることが覗えます。

その小池知事は5日、公明党の山口代表と会談し、都政を前に進めましょうと呼びかけるなど、さっそく動きを活発化させています。

そして、今回の選挙結果をうけ政府与党内で広がっているのが次の衆院選への危機感。自民党内では、「選挙の顔」として菅総理では厳しいという声が出始めているのです。こうしたなか野党は、立憲民主党・安住国対委員長「都政に関する選挙ではありながら、やはりオリンピックへの対応や、コロナ対応についての政権に対する評価というのが、ある程度如実に出了選挙結果ではなかったかなと思います。総選挙（衆院選）の大変動を予感させるものはあったと」

ただ、都議選での立憲民主党の議席数は、共産党よりも少なく、

身内からも「政権交代を狙う政党の結果ではない」との批判の声もあがっています。

## 自民 都議選で 33 議席にとどまる 衆院選へ危機感 戦略見直しも

NHK2021年7月5日 6時26分



東京都議会議員選挙で、自民党は第1党となったものの、公明党と合わせて目標としていた過半数には届かず、過去2番目に少ない33議席にとどまりました。党内では、衆議院選挙を前に危機感が広がっていて、戦略の見直しを迫られることになりそうです。

4日投票が行われた東京都議会議員選挙で、自民党は選挙前を8議席上回る33議席を獲得して、第1党となりました。

しかし、公明党と合わせても目標とした過半数には届かず、国会で野党に転落する直前に行われた12年前の選挙の38議席を下回り、過去最低だった前回・4年前に次ぐ2番目に少ない議席にとどまりました。

政府・自民党内には「都の課題を問う選挙であり国政への影響はない」という意見があります。

一方で、選挙結果は、新型コロナウイルス対策への不満や、東京オリンピックへの不安のあらわれだとして、「事実上の敗北だ」という声も出るなど、衆議院選挙を前に危機感が広がっています。このため、自民党は、衆議院選挙に向けて戦略の見直しを迫られることになりそうです。

これに対し、野党側は、立憲民主党と共産党が、一部の選挙区で候補者の競合を避けるためにすみ分けを行うなどし、立憲民主党は15議席、共産党は19議席と、いずれも選挙前の議席を上回りました。

立憲民主党は「野党共闘の一定の成果だ」として衆議院選挙でも、できるだけ多くの選挙区で野党候補を一本化することを目指して、調整を急ぐことにしています。

## 【詳報】東京都議選 自民が都議会第1党、過半数はならず 女性が最多の41人当選

東京新聞 2021年7月5日 01時52分

東京都議選（定数127）は7月4日に投開票が行われた。271人が立候補、無投票で当選が決まった小平市選挙区（定数2）をのぞく、残る41選挙区で125議席を争った。焦点だった、自民、公明両党での過半数の64議席獲得はならず、小池百合子知事が特別顧問を務める都議会第1党・都民ファーストの会は第2党に後退した。コロナ禍の今回の投票率は42.39%で過去2番目に低かった。議席の行方や投票率の行方を速報した。（デジタル編集部）

【関連記事】東京都議選の各種記事は、特設ページで東京都議選が告示され第一声を上げる（上段左から）都民ファーストの会の荒木千陽代表、自民党の菅義偉首相、公明党の山口那津男代表、共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、（下段左から）東京・生活者ネットワークの山内玲子共同代表、

日本維新の会の片山虎之助共同代表、国民民主党の玉木雄一郎代表、嵐の党の立花孝志党首、れいわ新選組の山本太郎代表=いずれも都内で

1:45 女性は最多の41人当選

新しい東京都議のうち、女性は過去最多の41人が当選した。前は36人。当選者の女性割合は32%となった。政党別で上位から、共産14人、都民ファーストの会12人、自民と立憲民主がそれぞれ4人と続いた。

【関連記事】女性の当選、過去最多の41人 自民・公明は女性の割合低く

1:45 投票率42.39%に修正し、確定

確定した投票率が42.39%と発表された。51.28%だった前回より、8.89ポイント低かった。

1:02 全議席確定 自民が第1党、都民ファと2議席差

127議席全てが決まった。選挙前25議席だった自民党は、33議席の獲得にとどまり、第1党になったものの、目標としていた自民・公明両党での都議会の過半数には届かなかった。

【関連記事】コロナ感染拡大で菅政権に不満 自公過半数届かず秋の解散戦略に影響も 野党は共闘課題

【関連記事】自民伸び悩み、表情硬く「五輪と新型コロナの逆風は思った以上」 小池知事への同情票の影響も

選挙前46議席だった都民ファーストの会は31議席となり、第2党に後退した。公明党は候補者全員当選の23議席を獲得、8回連続の全員当選となった。共産党は選挙前から1議席増やして19議席、選挙前8議席だった立憲民主党は15議席に伸ばした。日本維新の会と、東京・生活者ネットワークは、いずれも選挙前と同じ1議席を獲得。無所属は4人だった。

【関連記事】苦戦の都民ファ荒木代表「都政改革へ戦ってきた思い届いた」 “小池頼み”の弱さも

【関連記事】五輪リスクへの懸念が投票に影響 共産・立民に存在感 菅政権の「無観客」案 有権者の不安拭えず

1:02 練馬区、世田谷区 議席固まる

練馬区（定数7）は、公明現職の小林健二さん、立憲民主現職の藤井智教さん、共産現職の戸谷英津子さん、都民ファーストの会現職の尾島紘平さん、都民ファーストの会の村松一希さん、自民元職の山加朱美さん、自民現職の柴崎幹男さんが当選を確実にした。有権者への現金配布問題で議員辞職し、自民も離党した菅原一秀前経済産業相の地元の一方で、小池百合子知事のお膝元ということで、注目選挙区の一つだった。

世田谷区（定数8）は、都民ファーストの会現職の福島理恵子さん、共産現職の里吉ゆみさん、公明新人の高久則男さん、自民現職の小松大祐さん、自民現職の三宅茂樹さん、立憲民主現職の山口拓さん、立憲民主新人の風間穰さん、自民新人の土屋美和さんが当選を確実にした。

0:55 品川区 自民元職、新人敗れる

品川区（定数4）は、公明現職の伊藤興一さん、無所属現職の森沢恭子さん、共産現職の白石民男さん、立憲民主新人の阿部祐美子さんが当選を確実にした。自民は元職と新人の2人がともに敗れた。

0:45 北多摩3 共産は返り咲けず

北多摩3（定数3）は、都民ファーストの会現職の尾崎大介さ

ん、自民現職の林明裕さん、公明現職の中島義雄さんが当選を確実にした。共産元職の田中智子さんは及ばなかった。公明はこれで立候補していた23人が全員当選となった。

#### 0:40 大田区、目黒区固まる

大田区(定数7)は、共産現職の藤田綾子さん、日本維新の会新人の松田龍典さん、立憲民主新人の斉藤里恵さん、自民現職の鈴木晶雅さん、公明新人の勝亦聡さん、都民ファーストの会現職の森愛さん、公明新人の玉川英俊さんが当選を確実にした。目黒区(定数3)は、都民ファーストの会現職の伊藤悠さん、公明現職の斉藤泰宏さん、立憲民主新人の西崎翔さんが当選を確実にした。

#### 0:30 江戸川区、新宿区、足立区で議席固まる

江戸川区(定数5)は、公明新人の竹平智春さん、都民ファーストの会現職の田之上郁子さん、無所属現職の上田令子さん、共産新人の原純子さん、自民現職の宇田川聡史さんが当選を確実にした。新宿区(定数4)は、共産現職の大山とも子さん、公明現職の古城将夫さん、都民ファーストの会現職の森口つかささん、自民新人の吉住栄郎さん。足立区(定数6)は、公明現職の薄井浩一さん、都民ファーストの会現職の後藤奈美さん、公明現職の中山信行さん、自民現職の高島直樹さん、共産現職の斉藤真里子さん、自民元職の発地易隆さんが当選を確実にした。

#### 0:15 北多摩2はネットと自民

北多摩2(定数2)は、東京・生活者ネットワーク新人の岩永康代さん、自民新人の本橋巧さんが当選を確実にした。

【関連記事】ネット発祥の地のバトンを継いだ 北多摩2、岩永さん初当選

#### 0:10 西東京は自民、都民ファ

西東京市(定数2)は、自民新人の浜中義豊さん、都民ファーストの会現職の桐山ひとみさんが当選を確実にした。

#### 0:00 調布市 票数を数え直しへ

東京都調布市は4日、都議選北多摩3区の市内投票所で集計した投票者数よりも、実際に開票所で数えた票数が約10票多かったとして、票を数え直すと明らかに。

#### 0:00 世田谷区、4議席決まる

世田谷区(定数8)は、都民ファーストの会現職の福島理恵子さん、公明新人の高久則男さん、共産現職の里吉ゆみさん、自民現職の小松大祐さんの4人が当選を確実にした。残る4議席を争う

#### 23:55 八王子市、北多摩1、杉並区で議席固まる

八王子市(定数5)は公明現職の東村邦浩さん、自民現職の伊藤洋広さん、自民新人の西山賢さん、立憲民主新人の須山卓知さん、共産新人の青柳有希子さんが当選を確実にした。北多摩1(定数3)は、公明現職の谷村孝彦さん、共産現職の尾崎あや子さん、都民ファーストの会現職の関野杜成さん。杉並区(定数6)は、都民ファーストの会現職の茜ケウ保嘉代子さん、共産現職の原田暁さん、自民現職の小宮安里さん、立憲民主新人の関口健太郎さん、公明現職の松葉多美子さん、自民現職の早坂義弘さんが当選を確実にした。

#### 23:45 台東区、渋谷区、江東区、豊島区で議席固まる

台東区(定数2)は、自民新人の鈴木純さん、都民ファーストの会の現職保坂真宏さんが当選を確実にした。渋谷区(定数2)

は、立憲民主新人の中田喬士さん、都民ファーストの会現職の龍岡愛梨さん。江東区(定数4)は、自民現職の山崎一輝さん、都民ファーストの会現職の白戸太朗さん、公明現職の細田勇さん、共産現職の畔上三和子さん。豊島区(定数3)は、都民ファーストの会現職の本橋弘隆さん、共産現職の米倉春奈さん、公明現職の長橋桂一さんが当選を確実にした。

#### 23:25 中野区、板橋区、青梅市、町田市、西多摩でも議席固まる

中野区(定数3)は、立憲民主現職の西沢圭太さん、都民ファーストの会現職の荒木千陽さん、公明現職の高倉良生さんが当選を確実にした。板橋区(定数5)は、共産現職の徳留道信さん、立憲民主現職の宮瀬英治さん、公明新人の鎌田悦子さん、自民元職の松田康将さん、都民ファーストの会現職の木下富美子さん。青梅市(定数1)は、都民ファーストの会現職の森村隆行さんが自民新人候補を破り、当選を確実にした。町田市(定数4)は公明現職の小磯善彦さん、都民ファーストの会現職の藤井晃さん、自民新人の星大輔さん、共産現職の池川友一さん。西多摩(定数2)は、都民ファーストの会現職の清水康子さん、自民現職の田村利光さんが当選を確実にした。

#### 23:15 三鷹市、墨田区 議席決まる

三鷹市(定数2)は、立憲民主現職の中村洋さん、都民ファーストの会現職の山田浩史さんが当選を確実に。墨田区(定数3)は、公明現職の加藤雅之さん、自民現職の川松真一朗さん、都民ファーストの会現職の成清梨沙子さんが当選を確実にした。既に議席が固まっていたのは、千代田区、港区、中央区、文京区、北区、荒川区、葛飾区、立川市、武蔵野市、府中市、昭島市、小金井市、日野市、南多摩、北多摩4、島部で、計18選挙区で議席が固まった。前のページ

#### 23:10 葛飾区、「独立系候補」は涙

葛飾区(定数4)は、公明新人の北口剛士さん、共産現職の和泉尚美さん、自民新人の平田充孝さん、都民ファーストの米川大二郎さんが当選を確実にした。既存政党に所属しない「独立系候補」が多く立候補したため、ネット上などで注目を集めていた。

【関連記事】葛飾に独立系候補の「レジェンド」ら集結 4年前の「あの人」にあこがれて?

#### 23:05 自公、過半数届かず

自民党は、選挙協力を結んでいた公明党の議席を合わせても、過半数の64議席を獲得できないことが確実となった。

【関連記事】自公で過半数届かず 秋の衆院選に打撃 都民ファも後退の見通し

#### 23:00 議席固まったのは15選挙区に

港区や南多摩、北多摩4でも議席が固まった。既に議席が固まっていたのは、千代田区、中央区、文京区、北区、荒川区、立川市、武蔵野市、府中市、昭島市、小金井市、日野市、島部。

港区(定数2)は、自民現職の菅野弘一さん、都民ファーストの会現職の入江伸子さんが当選を確実にした。南多摩(定数2)は都民ファーストの会現職の石川良一さん、自民元職の小磯明さんが当選した。北多摩4(定数2)は共産現職の原紀子さん、自民新人の渋谷信之さん。

#### 22:50 12選挙区で議席固まる

開票作業が進み、千代田区、中央区、文京区、北区、荒川区、立川市、武蔵野市、府中市、昭島市、小金井市、日野市、島部で

議席が固まった。

中央区（定数1）は、自民新人の石島秀起さんが当選確実。文京区（定数2）は都民ファーストの増子博樹さん、共産新人の福手裕子さん。北区（定数3）は、自民現職の山田加奈子さん、公明現職の大松成さん、共産現職の曾根肇さん。荒川区（定数2）は都民ファーストの滝口学さん、公明現職の慶野信一さん。小金井市（定数1）で、無所属新人の漢人明子さんが当選確実にした。

【関連記事】中央区の自民・石島さんが雪辱果たす

22:44 千代田で都民ファーストの平さんが当確

千代田区（定数1）で、都民ファーストの会現職の平慶翔さんが当選確実にした。平さんは、サッカー選手の長友佑都さんの妻で、俳優の平愛梨さんを姉に持つ。一方で、自民候補の内田さんは、「東京自民のドン」と呼ばれた内田茂さんの義理の息子で、注目されていた。

22:30 自民伸び悩み

開票状況や出口調査で伸び悩みが伝えられる自民党。開票前に「最低ライン」としていた自公過半数に届くかどうか微妙な状況になってきた。

【関連記事】「五輪と新型コロナの逆風は思った以上」 小池知事への同情票の影響も

22:25 府中で無所属小山さんと自民鈴木さんが当確

府中市（定数2）で、無所属現職の小山有彦さんと、自民元職の鈴木錦治さんの2人が当選を確実にした。

22:22 昭島で都民ファーストの内山さんが当確

昭島市（定数1）で、都民ファーストの会の現職内山真吾さんが、当選を確実にした。自民新人、共産新人の候補を破り、議席を維持した。

22:15 投票率は42.42%

期日前投票を含む投票率が発表され、42.42%だった。前回の51.28%より8.86ポイント下回った。（その後、東京都選挙管理委員会が42.39%に修正し、確定）

22:12 立川で立憲・酒井さんと自民・清水さんが当確

立川市（定数2）で、立憲民主党の酒井大史さんと、自民党の清水孝治さんが、当選確実にした。

22:10 武蔵野で立憲の五十嵐さんが当確

武蔵野市（定数1）で、立憲民主党の五十嵐衣里さんが、都民ファーストの現職、自民党の新人候補を破り、当選を確実にした。

【関連記事】新人女性対決の武蔵野市 立民・五十嵐さんが初当選「助け合える社会を」

22:00 島部で三宅さん当確

島部（定数1）で、自民党公認の三宅正彦さん＝都議会党政調会長＝が当選を確実にした。

21:20 自民・鴨下都連会長「議席を伸ばし、一定の働き確信」

自民党都連の鴨下一郎会長はNHKに出演し、自民と選挙協力をしている公明を合わせても過半数獲得が微妙になっていると問われ「まだ出口調査だけの結果」とした上で「接戦しているところの結果がどう出てくるか、期待している。議席を伸ばして、一定の働きを都政でやっていくと確信している」と述べた。国政と都政の連携の質問に対し、東京五輪に触れ「無観客という選択肢もあるだろうが、逆境の中で五輪を成し遂げ、コロナでダメージを受けた人を国と東京都が協力して支援していきたい」と語った。

た。

公明党の高木陽介東京都本部代表は獲得議席が16-23議席と予想されていると問われ「23人全員当選を確信して待ちたい」と述べた。過去7回連続で候補者全員が当選する「無敗神話」を続けてきたが、今回は厳しい戦いとなっている。

共産党の小池晃書記局長は「五輪よりも命だと、訴えてきた。非常に大きな手応えを感じた。現有18議席を守り抜いていきたい」と話した。

立憲民主党の手塚仁雄東京都連幹事長は「新人候補を擁立して、選挙全体では知名度が足りない中で党一丸となった。小池都政をチェックできる真つ当な都議会の体制をつくりたい」と話した。

【関連記事】共産・小池書記局長「自民への都民の批判が表れた結果に」 今後の野党共闘に期待も

20:55 都民ファースト・荒木代表「小池都知事、息絶え絶え」

都民ファーストの会の荒木千陽代表は東京MXの選挙特番に出演し、選挙最終日に小池百合子都知事が応援演説に駆けつけたことについて、「小池知事がご決断された。息絶え絶えで、車の中に酸素ボンベが積んであったという状況で、本当にぎりぎりの状態できていただいた」と明かした。

今回の選挙について、「大々的な街頭演説ができず、コロナ禍の選挙になった。本当に活動がしづらかった」と振り返った。

【関連記事】苦戦の都民ファースト荒木代表「訴えに共感もってもらえた」 党内からは“小池頼み”への自戒も

20:50 期日前投票は過去最高

東京都議選の期日前投票（6月26日-7月3日）は142万5192人となり、前回は7万29人上回り、過去最高となった。

20:05 自民と都民ファーストが第1党争う

共同通信が実施した出口調査によると、自民党と小池百合子知事が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」が第1党を争う情勢となっている。序盤戦で苦戦が伝えられていた都民ファーストの会は、終盤で追い上げたとみられる。

【関連記事】共同通信の出口調査、自民と都民ファーストが第1党争う 立憲民主、共産は堅調な戦い

20:00 投票締め切り

東京都議選の投票が締め切られた。開票状況など、わかり次第、お伝えします。

19時30分現在の推定投票率（10市区の平均）は28.41%。前回選挙を7.47ポイント下回った。

19:00 投票率1%で11.5万票が増減

18時現在の都内全体の投票率（無投票の小平市選挙区をのぞく）は、25.35%で、前回は7.01ポイント下回った。23区では文京区の28.57%が最も高く、港区の20.99%が最も低くなっている。

投票締め切りまであと1時間。投票率が1%動けば11万5000票が増減する。都選挙管理委員会の担当者は「今の社会への思いを投票という形でぶつけてほしい」と話している。

都議選で争点の1つとなったのは、新型コロナ対策。都内では新規感染者が、前の週の同じ曜日を15日連続で上回る状況が続いている。

17:40 再び前回との差が広がる

17時現在の推定投票率（10市区の平均）は23.68%。

前回選挙を5・18ポイント下回った。16時現在よりも前回選挙とのポイント差は広がった。

17:00 前回選挙との差が縮まる

16時現在の推定投票率（10市区の平均）は21・23%。4年前の前回選挙を4・87ポイント下回った。ただ14時現在の推定投票率や15時の投票率よりも前回選挙との差が縮まっている。

都議選で各党の候補はどんな訴えをしてきたのか。3日の選挙戦最終日の各党幹部らの訴えはこちら。

【関連記事】五輪・パラは？ コロナ対策は？ 都議選挙最終日に各党幹部ら熱く訴える

16:05 投票率は18・12%

15時現在の都内全体（無投票の小平市選挙区を除く）の投票率は、18・12%。前回選挙を5・69ポイント下回った。23区では北区が20・29%と唯一20%を超えた一方、港区が13・76%と全選挙区で最も低い投票率となった。

また政党公認だけでなく、政党に属さない「独立系」と呼ばれる候補者も多く立候補している葛飾区は16・46%となった。

【関連記事】葛飾に独立系候補の「レジェンド」ら集結 4年前の「あの人」にあこがれて？

今回は16時現在の推定投票率（10市区の平均）が同40分ごろ発表の見通し。全選挙区の投票率は18時現在の数字が19時ごろに発表される見通しとなっている。

14:40 推定投票率は15・59%

14時現在の推定投票率は15・59%。4年前の前回選挙を5・29ポイント下回った。推定投票率は新宿、台東、品川、目黒、中野、荒川、練馬、府中、町田、東村山の10区市の投票率の平均。

13:00 「大きな転機になりそう」

雨がぱらつく中、目黒区内の投票所では、次々と人が訪れた。投票を終えたアパート経営の男性（72）は「五輪の問題やコロナ対策を重視した。言うだけじゃなく、どこがしっかりとやっているのか。きちんと見て判断した」とじっくり見比べたという。

いま期待することは、コロナワクチン接種の推進だ。「ワクチンを2回打っていない人もいるし、若い人たちには、ほとんど行き渡っていない。充実してほしい」と求めた。

「今回は難しいね。日本の大きな転機になりそう」と話したのは、無職男性（79）。コロナ対策や五輪の是非に加え、福祉政策に注目したという。「自分も高齢になってきたし、福祉は気になるね。コロナで家賃に困る人もいるというし、家賃負担を軽くするような税制についても考えてもらいたいね」と1票を託した。

12:50 投票率は9・54%

正午現在の都内全体（無投票の小平市選挙区を除く）の投票率は、9・54%。4年前の前回選挙を5・12ポイント下回った。檜原村が21・28%、奥多摩町が19・81%となっているのに対し、港区は6・19%、新宿区は6・87%などと都心部では出足が鈍い。23区内で10%を超えたのは、墨田区（10・19%）、大田区（10・08%）、北区（10・06%）、練馬区（10・30%）の4区となっている。

都内全体の投票率はその後、15時現在、18時現在のものが発表される。

11:40 前回は4・35ポイント下回る

午前11時現在の推定投票率は5・82%。前回選挙を4・35ポイント下回った。

11:00 「投票、絶対欠かさない」

小雨が降り続く中、品川区内の投票所に傘を差した人らが訪れた。入り口にたどり着く直前に壁に手を当て、休憩していた元診療所事務の鍋木富貴子さん（81）は「普段はつえを使っているけど、傘を差しているからね」と語り、息を整えた。投票は「病気じゃないときは絶対に欠かさない。選挙権を受けるようになったから、当たり前」といつも続けてきた。「地元の住民を思って政治をしてほしい」と願って、票を入れたという。

同じ投票所に来たIT企業経営の男性（26）は「自分たちの生活に関わる経済政策が気になった。公約を実現してくれそうな政党の人を選んだ」と語った。航空や飲食業界の友人らがコロナ禍で苦しんでいるという。投票には「絶対に行こう」と決めていた。「僕らの世代は興味がないと思われ続けるのは、しゃくだなと思って。インターネットで発信する候補者はいたけど、若者向けの政策はまだ少ない印象ですね」と語った。

10:40 推定投票率 2・92%

午前10時現在の推定投票率は2・92%。前回は2・76ポイント下回った。

9:40 推定投票率 前回は1・60ポイント下回る

午前9時現在の推定投票率は1・19%。推定投票率は新宿、台東、品川、目黒、中野、荒川、練馬、府中、町田、東村山の10区市の投票率の平均。前回の2・79%を1・60ポイント下回った。

各党は今回の投票率を4年前の前回51・28%並みか、それを下回るとみる。投票率が1%動けば11万5000票が増減する。都選挙管理委員会の担当者は「西東京市長選や目黒区長選はコロナ禍でも投票率が上がった。今の社会への思いを投票という形でぶつけてほしい」と話している。

過去の投票率の推移や各党の見方など、詳しくは【記事】コロナ禍の東京都議選、投票率の行方は？

一方で、期日前投票（6月26日～7月2日）は過去最高でした。詳しくは【記事】都議選 期日前投票99万人超 投票2日前では過去最高

7:00 投票始まる

東京都議選の投票が始まる。投票は午後8時まで。

【タイムライン】東京都議会議員選挙2021

NHK2021年7月5日 2時02分



任期満了に伴う東京都議会議員選挙は4日、投票が行われました。

秋までに行われる衆議院選挙の前哨戦とも言われる今回の選挙の動きを、時系列で詳細にお伝えします。

自公 目標の過半数確保ならず

4日、東京都議会議員選挙で、自民党は都議会第1党となったものの過去2番目に少ない議席数で、目標としていた自民・公明両党での過半数にも届きませんでした。

一方で、都民ファーストの会は議席は減らし、自民党とは2議席差で第2党となりました。

東京都議会議員選挙は開票が行われ、42の選挙区の127の議席が確定しました。

選挙前は45議席で第1党だった都民ファーストの会は14議席減らして31議席にとどまりました。

2人を擁立した八王子市でいずれも落選したほか、前回の選挙で2人が当選した選挙区で今回は1議席にとどまるケースが相次いだためです。

一方、選挙前25議席だった自民党は議席を上積みしたとはいえ、33議席の獲得にとどまって過去2番目に少ない議席数になり、都議会第1党にはなったものの目標としていた自民・公明両党での過半数にも届きませんでした。

2人を擁立した品川区と目黒区の選挙区ではいずれも1議席も獲得できなかったほか、大田区では3人中2人が落選するなど厳しい結果となりました。

自民党と選挙協力を行った公明党は23人の候補者全員が当選し、平成5年の都議会議員選挙以降、8回連続での全員当選となりました。また共産党は、選挙前の18議席から1つ増やして19議席を確保しました。

さらに、選挙前8議席だった立憲民主党は、15議席に伸ばしました。

日本維新の会と、東京・生活者ネットワークは、いずれも選挙前と同じ1議席を獲得しています。

政府高官「謙虚に受け止める。国政に影響ない」(5日1:00過ぎ)  
政府高官は、NHKの取材に対し「新たに複数の議席を獲得して善戦した地域もあるが、全体としては厳しい結果となり、民意を謙虚に受け止めたい。一時は、自民党が50議席も狙えるのではないかという話もあって、党内が緩んでしまった部分があると思うが、東京都議会議員選挙は、都の課題を問う選挙で、国政に影響はないと思う。新型コロナウイルス対策をはじめとして、1つ1つの課題に答えを出し、衆議院選挙に備えていく」と述べました。

れいわ新撰組 山本代表「残念ながら敗北だ」(5日1:00過ぎ)  
れいわ新撰組の山本代表は「大胆な発想で既得権に縛られない政党の必要性を訴えたが、残念ながら議席獲得には至らず敗北だ。これまで選挙に主体的に参加したことがないボランティアが中心的役割を担ってくれたが、この数が増えなければ社会を変えることは難しい。今回の反省と成果を衆議院選挙につなげ、臨んでいきたい」とするコメントを発表しました。

嵐の党 立花党首「結果は予想通り」(5日1:00頃)

嵐の党の立花党首は、NHKの取材に対し『『少数の意見を大切に』と訴えてきたが、結果は予想通りで驚いていない。衆議

院選挙に向けて、しがらみのない政治を目指し、インターネットなどを通じて地道な発信を続けていきたい」と述べました。

公明 山口代表「奇跡的な結果」(5日1:00頃)

公明党の山口代表は、記者団に対し「23人の全員当選を果たすことができ、まさに奇跡的ともいえる結果だ。公明党は、都政に対する貴重な勢力になると思う。これからの都政運営は様々な困難も予想されるが、合意をつくるための丁寧な運営努力に徹していきたい。都民に必ずや、応援してよかったと思っていただけるような活動を展開していきたい」と述べました。

また、衆議院選挙について「都議会議員選挙は、国政選挙に影響を及ぼす重要な選挙と位置づけており、全員当選という結果は次のステップになる。様々な要因を分析し、教訓にしながら、次の戦いも勝利できるよう全力を挙げて準備していきたい」と述べました。

自民 過去2番目に少ない議席に(5日1:00)



自民党は、今回の都議会議員選挙で33議席の獲得にとどまって、過去2番目に少ない議席数になることが現実となりました。

選挙前は25議席の自民党は、今回の選挙で議席を増やしましたが、33議席の獲得にとどまる見通しです。

都民ファーストの会が圧勝し、自民党として過去最低となった前回・平成29年の選挙で獲得した23議席を上回るものの、過去2番目に少ない議席数になることが現実となりました。

これまでで2番目に少なかったのは38議席で、▼当時の民主党が第1党となった平成21年の選挙と、▼議長選出をめぐる汚職事件で議会が解散したことに伴う昭和40年の選挙の時でした。自民 都議会第1党が確実に 自公で過半数には届かず(5日0:51)



自民党は、今回の選挙で都議会第1党となることが現実になりました。ただ、目標としていた自民・公明両党での過半数には届かないことが現実です。

立民 福山幹事長「衆院選 野党一本化で可能性」(5日0:40)



立憲民主党の福山幹事長は、東京都連で記者団に対し「都議会ですっかりチェック機能を果たしていくための一定の基盤ができたと考える。都議会ですっかり存在感を示していきたい」と述べました。

そして「これだけ自民党への批判票があるということは、国民の期待が得られる一本化した野党候補がいれば、票がくる可能性が広がったということだ。衆議院選挙では、まず国民民主党や社民党と候補者調整、そのあと共産党と、どういう形で協力できる

か調整していきたい」と述べました。

共産 志位委員長「野党の共闘 信頼大事に衆院選へ」(5日 0:30)



共産党の志位委員長は、記者会見で「野党間の連携がなければ、わが党は現有議席を確保することが難しかったと思う。また、自民・公明両党あわせた獲得議席が、過半数を割ったのは、野党の連携が寄与したのではないかと。選挙を通じて実質的な共闘が進んだと思うので、この信頼関係を大事にし、次の衆議院選挙につなげたい」と述べました。

公明 山口代表「結果を謙虚に受けとめ」(4日 23:45)



公明党の山口代表は、4日夜、記者会見し「どの政党や会派も単独で過半数を取ることができなくなり、今後、都政運営が難しい状況が生まれると思う。小池知事の振舞いも少なからず影響を与えたのではないかと。都議会の合意形成を推進する要役として、混乱を招かないようにすることが重要になってくる」と述べました。一方、山口氏は、衆議院選挙について「まさに政権選択の選挙であり、これまでの政権運営などが問われる。コロナをいかに乗り越えるかや、ポストコロナの時代をどう鮮明に描いて希望を持ってもらえるかの訴えかけによる。都議会議員選挙の結果は、謙虚に受けとめながらも、国政の意義を改めて捉え直して、有権者にしっかり訴えていく構えを作ることが重要だ」と述べました。

自民 山口氏「衆院選 自公で過半数が勝敗ライン」(4日 23:40)



自民党の山口選挙対策委員長は、秋までに行われる次の衆議院選挙について、今夜、NHKの開票速報番組で自民・公明両党で過半数の獲得が勝敗ラインになるという認識を示しました。

この中で、自民党の山口選挙対策委員長は、次の衆議院選挙の時期について「菅総理大臣は無口な人であり、突っ込んだ話をしたことはないが、菅総理大臣は常々、『コロナ対策をしっかりと収束することが1番だ』と言っているの、解散は総理大臣の専権事項ではあるが、それに尽きる」と述べました。

その上で、衆議院選挙の勝敗ラインについて「森山国会対策委員長や安倍前総理大臣も『与党で過半数』と言っているの、そこを最低でも目標にやっていきたい」と述べました。

一方、衆議院選挙で新型コロナウイルス対策をどう訴えるかについては「感染予防対策の徹底とワクチン接種だ。あらゆる角度から厚生労働省や、ワクチン担当の河野規制改革担当大臣、加藤官房長官を含めて意見調整しながらしっかり前に進めていくことに尽きる」と述べました。

国民 川合 都連会長 衆院選「野合では期待に応えられず」



国民民主党東京都連会長の川合孝典参議院議員は、NHKの開票速報番組で「大変厳しい結果になったが、『改革中道』の立ち位置や政策などの訴えに対する反応には手応えを感じた。衆議院選挙では、コロナ禍の脱却などに向けて、積極的な政策提言を行ってきたい」と述べました。

また、衆議院選挙での野党連携については「巨大与党と向き合うために当然考えなければいけないが、足並みの方向性をそろえて、新たな政治を有権者に提示できるかが問われている。単なる野合と言われる連携では国民の期待に応えることはできない」と述べました。

公明 当確 杉並区 松葉多美子氏「五輪無観客も」(23:40)



公明党の現職で杉並区選挙区の松葉多美子氏は、「コロナ禍の中での選挙戦となりオンラインで集会を開くなど工夫してきたが、どうやって都民に訴えを伝えるのか課題が大きかった。新型コロナ対策については、今後、ワクチン接種を迅速に進めていくことやPCR検査などの態勢整備が重要だと考えている。また、東京オリンピック・パラリンピックについては安全に開催することが重要だ。都民の命が一番大事なので無観客での開催も含めて検討していく必要がある」と述べました。

共産 志位委員長「野党共闘 衆院選でも」(23:40頃)



共産党の志位委員長は、NHKの開票速報番組で「東京オリンピックは中止して、コロナの収束にあらゆる力を集中させるべきだと訴えて選挙戦を戦ったが、とても大きな手応えを感じている」と述べました。また、今回、一部の選挙区で立憲民主党と候補者のすみ分けを行ったことについて「かなり効果をあげて共闘が進んだと考えているので、次の衆議院選挙にもつなげていきたい。市民と野党の共闘で新しい政権を作りたいと思っており、協議が前に進むようしっかり取り組んでいきたい」と述べました。

維新 馬場幹事長「都民ファーストの支持を維新に」(5日 23:30)



日本維新の会の馬場幹事長は、大阪市内で記者団に対し、「かなり厳しい状況だが、4年前と比べて『維新頑張れ』という声が圧倒的に増えているという感じがした」と述べました。

そのうえで、衆議院選挙への対応について、「われわれは、『日本大改革プラン』という政策を打ち出しているのだから、これを有権者によく見ていただいて戦っていく。国政に都民ファーストの会という政党はないので、支持している人にできれば維新の会に投票していただく戦略でやっていきたい」と述べました。

自民 当選 山崎一輝氏



自民党の現職で、江東区選挙区の山崎一輝氏は「コロナ禍でいつものように演説会ができず、多くの選挙活動が制限される本当に厳しい選挙戦だったが、多くの有権者の皆様の支えによって当選を果たすことができた。公約で掲げてきた都民税や事業所税の減税などを果たしていくという新たな決意をした。皆様の1票の重みを受け止め、都議会の場で江東区というポテンシャルのある地域を、そして、東京都を引っ張っていきたい」と述べました。立民 福山幹事長「自信と期待持って衆院選に」(23:30頃)



立憲民主党の福山幹事長は、NHKの開票速報番組で「わが党にとっては、結党以来、初めての都議会議員選挙だったが、一定の支持をいただき、手応えを感じている。やはり自民党のコロナ対策に批判的な人から支持をいただいたと思う。自信と期待を持って次の衆議院選挙に臨みたい」と述べました。

そして、次の衆議院選挙について「コロナ対策に加え、足元の経済をどうしていくのかなどが争点になってくるので、政権の選択肢になれるよう問うていきたい。政権を選択する選挙だと国民に認識してもらい、枝野代表と菅総理大臣、どちらを総理にするのかということ強く訴えていきたい」と述べました。

共産 当選 新宿区 大山とも子氏「五輪中止訴え届いた」(23:30)



共産党の現職で新宿区選挙区の大山とも子氏は「今回の選挙は都民の命を守りぬけるのかどうか問われた選挙だったと思っている。五輪を優先するのか、それとも命を優先するのか、私たちはオリンピックを中止してコロナ対策に全力を訴えてきたがこうした訴えが多くの人に届いたと考えている。皆さんから頂いた意見をしっかりと都議会で反映させ、より前に進めていきたい」と述べました。

都民 当選 田之上郁子氏「五輪 無観客を第一に」(23:20)



都民ファーストの会の現職で、江戸川区選挙区の田之上郁子氏は、「選挙戦では都政改革を進めるのか、それとも古い都政、古い都議会に戻していいのかと問い続けてきた。今回の結果で古い政治に戻すことに『ノー』という答えをもらったと思っている。選挙期間中にも新型コロナの感染者数が増え、オリンピックをどうしても開催するのであれば無観客を第一に考えてもらいたい。ワクチンはあるが、供給が遅い、少ないという課題があるので、国にさらに要望したい。また、都独自の大規模接種会場を増やすなどしてワクチンの接種を加速させたい」と述べました。

無所属 当選 小金井市 漢人明子氏「五輪中止すべき」(23:00頃)



無所属の新人で、共産党、立憲民主党、東京・生活者ネットワーク、社民党が推薦する小金井市選挙区の漢人明子氏は「市民が中心になり、それを政党や政治団体が応援するという形はずっと考えてきた理想だったので、それが実現できた。とても責任重大なので頑張っていきたい。新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにはオリンピック・パラリンピックは当然中止すべきだ。生活給付金の再支給や休業補償の迅速で適切な支給など、次の対策を考えていくがまずは1番困っている人に光が当たることをしていかなければいけない」と述べました。

自民 当選 立川市 清水孝治氏「立川を教育のまちに」(23:00頃)



自民党の現職で公明党が推薦する立川市選挙区の清水孝治氏は「政策を伝えづらいコロナの中での選挙だったが、コロナ禍を脱却するためには対立とか批判ではなく、連携や協力だと訴えてきたのと、立川を子どもたちのために教育のまちにしたいという基本的な政策が有権者に伝わり、今回の結果につながったと思う。都議会でも同志と一緒に掲げた政策を実現していきたい」と述べました。

自民 山口選対委員長「どこが足りなかったか精査」(22:30過ぎ)



自民党の山口選挙対策委員長は、午後 10 時半すぎ、党本部で記者団に対し「前回・4 年前の 23 議席を超えそうだということは良かった。ただ、自民・公明両党で過半数に届かないことが確実にになったことについては、どこが足りなかったのか精査して、今後の衆議院選挙に臨まなければならない」と述べました。

また、記者団が「菅政権への評価が影響したと思うか」と質問したのに対し、「一概にそういうことは言えないと思うが、今後、結果を見て、真摯に受け止めて、反省材料を次の糧にしなければならない」と述べました。

維新 松井代表「手応えも厳しい戦い。勝者なき選挙」(22:30 頃)



日本維新の会の松井代表は、NHK の取材に対し「前回の都議会議員選挙に比べると手応えはあり、『改革保守政党』として存在感は示せたと思うが、厳しい戦いだった」と述べました。

また、自民・公明両党あわせた獲得議席が、過半数に届かないことが確実にになったことについて「勝者なき選挙だ。わが党としては、次の衆議院選挙に向けて、いまの政治に緊張感を持たせられるよう全力で戦い抜く」と述べました。

自民 二階幹事長「議席を多少増やせる」(4 日 22:30 前)



自民党の二階幹事長は、午後 10 時半前に、党本部 1 階に設けられた東京都連の開票センターで挨拶し「都連の皆さんのたいへんな努力や活躍、また、候補者自身の懸命の戦いによって、選挙前から議席を多少増やすことができる状況のようだ。本当にみんなが一致団結して戦い抜いていただいたことに対して党を代表して、心から感謝を申し上げます」と述べました。また、「東京都の発展は、わが国の躍進に極めて重要な意味合いを持つことは、申すまでもない。われわれは、今度選ばれてくる、新しい都議会の皆さんと一緒に一丸となり、都民のため国民のためにしっかり頑張り抜くことを、ここに誓う」と述べました。

確定投票率 42.39% 過去 2 番目の低さ



東京都選挙管理委員会によりますと都議会議員選挙の最終的な投票率は、42.39%で、前回、4 年前の選挙より 8.89 ポイント低くなりました。

都議会議員選挙では過去、2 番目に低い投票率となりました。

自公合わせて過半数に届かないことが確実に (4 日 22:27)



自民党と公明党は両党あわせた獲得議席が過半数の 64 に届かないことが確実にになりました。

「東京・生活者ネットワーク」が 1 議席確保 (4 日 22:23)

「東京・生活者ネットワーク」は北多摩第 2 選挙区で擁立した候補者の当選が確実にとなり、選挙前の 1 議席を確保しました。

政府高官「国政には影響ない」(4 日 22:00 頃)

政府高官は NHK の取材に対し「一時、自民党が 50 議席も狙えるのではないかという話もあったが、ベースとなる現有議席が少ない状態だったので、楽観的過ぎる見通しだと思っていた。東京都の小池知事が終盤に都民ファーストの会の応援をしたことが結果に影響したのかは分析をしないと分からないが、首都である東京都の議会選挙とはいえ、いち地方選挙には変わりはないので、国政には影響はないと思う」と述べました。

国民 玉木代表「痛恨の極み 戦略を見直し」(4 日 21:40)



国民民主党の玉木代表は、NHK の取材に対し「現状、議席を確保できない見通しとなっていることは、痛恨の極みだ。次の衆議院選挙や来年の参議院選挙に向けて、戦略を見直したい」と述べました。

立民 手塚仁雄 都連幹事長「政治全体への厳しい声」(4 日 21:40)



立憲民主党東京都連の幹事長を務める手塚仁雄・衆議院議員は NHK の開票速報番組で「去年、新党となった立憲民主党としては、今回はじめての都議会議員選挙で、知名度が足りない中での選挙戦だったが、党一丸で戦った。厳しい目線で小池都政をチェックできるまっとうな体制を作っていきたい、オリンピックについては中止か延期だと粘り強く訴えた」と述べました。また「選挙戦全体を通じて、一番強く感じたのは小池都政というより、政治全体への厳しい声だ。次の衆議院選挙に向けて、そういった声の受け皿になるよう、しっかり対応していきたい」と述べました。

共産 小池書記局長「五輪中止の訴え支持された」(4 日 21:40)



共産党の小池書記局長は、NHK の開票速報番組で「菅総理大臣

や小池知事が、オリンピックの無観客を言うようになったが、われわれは、水際対策が非常に不十分の中で問われているのは無観客かどうかではなく、オリンピックの中止ではないかと正面から訴えた。非常に多くの都民に受け止められ、支持されたと思う。なんとか現有議席を守り抜いていきたい」と述べました。  
公明 高木国対委員長「全員当選を確信して待つ」(4日 21:40)



公明党東京都本部の代表を務める高木国会对策委員長は、NHKの開票速報番組で「激戦区では、最後まで訴え抜いたので全員当選を確信して待ちたい。緊急事態宣言によって、有権者と触れ合いながら訴えることがなかなか思うに任せなかったのは事実だ。衆議院選挙はこの秋までに必ず行われるので都議会議員選挙の経験を踏まえながら、どのように多くの有権者に実績を訴えきれかを課題として取り組んでいきたい」と述べました。

自民 鴨下都連会長「小池都政には是々非々で」(4日 21:30頃)



自民党東京都連の会長を務める、鴨下元環境大臣は、NHKの開票速報番組で「接戦となっているところの結果がどういうふうに出てくるか、大変、期待している。それぞれの候補者が4年間、大変な思いをして有権者と接してきた。その結果が必ず評価されると確信している」と述べました。

また、東京都の小池知事との関係について「今までも都政には是々非々で、都の予算にも自民党は賛成している。都民のため、東京の発展のために小池知事がどうするか、是々非々でしっかり対応したい。方針は今まで通りだ」と述べました。

立民 福山幹事長「最後までわからない」(4日 21:30頃)



立憲民主党の福山幹事長は、午後9時半ごろに東京都連に入る際、記者団に対し「最後まで、結果を見るまで分からない」と述べました。

都民ファースト 荒木代表「古い都政の復活許さず」(21:00過ぎ)



都民ファーストの会の荒木千陽代表は午後9時すぎに報道陣の取材に応じ「しがらみのある古い都政の復活を絶対許してはならないと、コロナ禍の中で都民の命や暮らし、健康をしっかりと

守れる都民ファーストの会が、都民のための改革政党として存続をさせていたきたいと訴えてきた。支援の拡大に繋がったとは思っている」と述べました。

また、小池知事について「同志としてずっとともに戦ってきたことには変わらない。最終日に応援に間に合わせて来てくれたことは、古いがらみの政治の復活に対しての危機感の表れだと思っている」と話していました。

立民 幹部「政権不信のあらわれだ」(4日 21:00頃)

立憲民主党の幹部の1人は、NHKの取材に対し「ワクチンの大規模接種や東京オリンピックなどをめぐる対応のまずさが自民党の選挙結果につながっていて、まさに『政権不信』のあらわれだ。立憲民主党としては、都政での足がかりが築ける結果となりそうで、今後の国政選挙で『非自民票』のさらに大きな受け皿になれるかが次の課題だ」と述べました。

立民 当確 武蔵野市 五十嵐衣里氏「生活を守りたい」(21:00頃)



立憲民主党の新人で東京・生活者ネットワークと社民党が推薦する武蔵野市選挙区の五十嵐衣里氏は「スタートラインに立つことができた。コロナ禍の中で、国の政策はおかしい、東京都の政策も十分ではないと声を上げたい人がたくさんいるのだと感じている。新型コロナで仕事を失ったり、収入が減ったりした人が多くいるので、これから生活の基盤を一つひとつ守っていく政策に取り組みたい」と述べました。

共産 小池書記局長「自民への都民の批判が表れた」(21:00前)



共産党の小池書記局長は、午後9時前、党本部で記者会見し「選挙戦では、東京オリンピック・パラリンピックの中止を訴え、手応えがあったので結果にどうあらわれるのかをしっかりと見たい。国政との関係では、自民党に対する都民の批判が一定程度あらわれた形になりつつあると思っており、今後の推移を見守りたい」と述べました。

公明 当確 八王子市 東村邦浩氏「無観客も視野に」(20:50頃)



公明党の現職で八王子市選挙区の東村邦浩氏は、「新型コロナウイルスの感染が広がる中、手応えを実感しにくく、かつてないほど苦しい選挙戦だった。新型コロナ対策について、特に感染が拡

大している 20 代や若年層へのワクチン接種を、都が大規模接種会場を設けて率先して行うよう、知事や副知事にしっかりと話をしていきたい。東京オリンピック・パラリンピックに関しては、感染状況によっては観客数を減らすことや無観客も視野に組織委員会や国が判断していくべきだ」と述べました。

自民 当確 中央区 石島秀起氏「身の引き締まる思い」(20:50頃)



自民党の新人で公明党が推薦する中央区選挙区の石島秀起氏は「身の引き締まる思いです。中央区の抱える様々な課題を解決していくためには、区政と都政、それに国政がしっかりと連携しなければならぬと訴えてきた。都議会議員としてのスタートラインに立つことができたが、これからが本番だ。皆様の声をしっかりと都政の場に届けるために全力で取り組んでいきたい」と述べました。

自民 幹部「想定を大きく下回る。衆院選へ緊迫」(4日 20:50)



自民党幹部の1人は、NHKの取材に対し「当初の想定を大きく下回っており、自民党への反発が予想以上に強かったと感じている。各選挙区で、野党候補の票の合計が与党候補の票の合計を上回ることも予想され、衆議院選挙に向けては緊迫した雰囲気になる。政府や自民党のどこに問題があるのかを早急に分析する必要があり、その結果によっては、今後、東京など都市部の議員を中心に『今のまま衆議院選挙に臨んでいいのか』という声があがりかねない」と述べました。

自民 東京選出衆議院議員「戦略再考必要」(4日 20:40)

自民党の東京都選出の衆議院議員は、NHKの取材に対し「衆議院選挙への影響は間違いなくある。無党派層への支持の拡大は、都市部の選挙で常に課題となっているが、戦略を改めて考えなければならぬ」と述べました。

その上で「今回の選挙結果がすぐに菅総理大臣の責任問題に発展するとは思わないが、東京オリンピック・パラリンピックの開催によって仮に新型コロナウイルスの感染が広がるようなことになれば『総理大臣を替えるべきだ』という声が党内からあがることもありえるのではないかと指摘しました。

自民 鴨下都連会長 党本部の都連の部屋に入る (4日 20:30頃)

自民党東京都連の会長を務める鴨下元環境大臣は午後 8 時半ごろ、党本部 1 階にある都連の部屋に入りました。

立民 幹部「確かな支持感じる」(4日 20:30頃)



立憲民主党の幹部の1人は、NHKの取材に対し「大きな風とま

では言えないかもしれないが、都民の確かな支持を感じることができて、ほっとしている。引き続き開票を見守りたい」と述べました。

自民 閣僚経験者「厳しい結果。衆院選にも影響」(4日 20:30)



自民党の閣僚経験者は、NHKの取材に対し「厳しい結果だ。東京都の小池知事が一時入院して、都民ファーストの会に同情票が流れた可能性はある。また、今の新型コロナウイルスの感染状況に対する不満が政権への批判票になったのではないかと。今回の選挙は、衆議院選挙の前哨戦と位置づけられていたのだから、当然、衆議院選挙にも影響すると思う」と述べました。

自民 閣僚経験者「過半数割れなら人事刷新求める声も」

自民党の閣僚経験者はNHKの取材に対し「自民・公明両党で過半数の議席を獲得できないことになれば、次の衆議院選挙に向けて、人事の刷新など何らかの対応を求める声が党内から出る可能性はある。ただ、東京都とはいえ、1つの地方選挙であり、菅総理大臣の責任を問う事態にはならないのではないかと述べました。

公明 高木国対委員長「大変厳しい戦いだった」(4日 20時頃)



公明党東京都本部の代表を務める高木国会対策委員長は党本部に入る際、記者団に対し「大変厳しい戦いだった。全員当選できるようにしっかり見守っていきたい」と述べました。

午後 7 時半の推定投票率 28.41% (4日 20:00)



秋までに行われる衆議院選挙の前哨戦とも言われる東京都議会議員選挙の投票は午後 8 時に締め切られました。

午後 7 時半現在の推定投票率は 28.41%と、前回と比べて 7.47 ポイント低くなっています。

任期満了に伴う東京都議会議員選挙には 42 の選挙区のあわせて 127 の定員に対して 271 人が立候補しています。

投票は都内 1800 か所あまりの投票所で行われ、中野区の投票所では新型コロナウイルスへの対策がとられる中、訪れた有権者が 1 票を投じていました。

東京都選挙管理委員会が期日前投票を除いてまとめた午後 7 時半現在の推定投票率は 28.41%と、前回と比べて 7.47 ポイント低くなっています。

また今回の東京都議会議員選挙できのう (3日) までに期日前投票を済ませた人は有権者のおよそ 12.4%にあたる 142 万 5192

人で、前回・4年前の同じ時期と比べて7万人あまり、(70029)率にして5.2%増えています。

今回の選挙は10月に任期満了を迎える衆議院選挙の前哨戦とも言われ、各党とも国政選挙並みの態勢で臨みました。

4年前の前回、小池知事が代表を務めていた都民ファーストの会は公明党と選挙協力を行いました。今回は、自民党と公明党が選挙協力を結びました。

このため、▽都議会第1党の都民ファーストの会がどこまで議席を確保できるかや▽自民党と公明党があわせて過半数の議席を獲得できるかが焦点です。

一方、共産党と立憲民主党は候補者を競合させないため一部の選挙区ですみ分けを行って、議席の上積みを狙います。

投票は一部の地域を除いて午後8時に締め切られ、即日開票されます。

最新の開票状況はNHKの都議選2021特設サイトでもお伝えします。

NHK 出口調査 (4日)



NHKは、きょう、有権者の投票行動や政治意識を探るため、出口調査を行いました。

調査は都内484の投票所で投票を終えた有権者4万3600人を対象に行い、60.5%にあたる2万6359人から回答を得ました。一方、きのうまでに有権者のおよそ12.4%が期日前投票を済ませています。これらの方々は調査結果に含まれていません。

《支持政党》

出口調査では、投票した人に、ふだん支持している政党について尋ねました。

- ▼自民党が31%
- ▼立憲民主党が11%
- ▼都民ファーストの会が8%
- ▼共産党が8%
- ▼公明党が7%
- ▼日本維新の会が3%
- ▼国民民主党が1%
- ▼特に支持する政党がない、いわゆる無党派層が28%でした。

《小池知事》

小池知事の都政運営について聞いたところ、

- ▼「評価する」が64%
- ▼「評価しない」が36%でした。

《都のコロナ対策》

東京都の新型コロナ対策について聞いたところ、

- ▼「大いに評価する」が9%
- ▼「ある程度評価する」が52%
- ▼「あまり評価しない」が28%
- ▼「全く評価しない」が11%でした。

《東京五輪》

東京オリンピックの観客の上限は1万人が原則で、状況次第で

無観客の可能性があります。

これについて聞いたところ、

- ▼「現時点で無観客の方針にすべき」が38%
- ▼「大会は中止すべき」が26%
- ▼「今の方針に賛成」が21%
- ▼「大会は再延期すべき」が10%
- ▼「観客の制限なく開催すべき」が5%でした。

《菅内閣》

菅内閣を支持するかどうか聞いたところ

- ▼「支持する」が39%
- ▼「支持しない」が61%でした。

自民党が第1党をうかがう情勢 (4日 20:00)

選挙前		選挙前			
都民	20~35	45	ネット	1~3	1
自民	25~43	25	国民	0	0
公明	16~23	23	れ新	0~1	0
共産	14~22	18	風党	0	0
立民	11~22	8	他	0	0
維新	0~2	1	無	2~6	5

きょう投票が行われた東京都議会議員選挙は、自民党が第1党をうかがう情勢です。

一方、選挙前に第1党だった都民ファーストの会は、議席は減らすものの自民党に迫る可能性もあります。

また、自民・公明両党が目標としていた過半数を確保できるかどうか微妙な情勢です。

NHKは、有権者の投票行動や政治意識を探るため、投票日のきょう、東京都内484の投票所で投票を終えた有権者4万3600人を対象に出口調査を行い、60.5%にあたる2万6359人から回答を得ました。

出口調査や情勢分析の結果、▼自民党は25議席から43議席を獲得する見通しで、第1党をうかがう情勢です。

▼公明党は16議席から23議席を獲得する見通しです。

これにより、自民・公明両党はあわせて41議席から66議席を獲得する見通しですが、両党が目標としていた過半数の64議席を確保できるかどうか微妙な情勢です。

一方、▼選挙前は第1党だった都民ファーストの会は、20議席から35議席を獲得する見通しで、選挙前の45議席から減らすものの自民党に迫る可能性もあります。

▼共産党は14から22議席、▼立憲民主党は11から22議席、

▼東京・生活者ネットワークは1から3議席を獲得する見通しです。

▼日本維新の会は最大で2議席、▼れいわ新選組は1議席を獲得する可能性があります。

▼無所属の候補者は2から6議席を獲得する見通しです。

立民 手塚仁雄 都連幹事長「あつという間だった」(4日 19:40)



立憲民主党の東京都連幹事長を務める手塚仁雄・衆議院議員は、午後7時40分ごろ、都連に入る際、NHKの取材に対し「9日間はあっという間だった。しっかり開票を見守りたい」と述べました。

共産 志位委員長 党本部に入る（4日 19:00 過ぎ）



共産党の志位委員長は、午後7時すぎ、党の「開票センター」が設けられている東京・渋谷区の党本部に入りました。

自民 下村政調会長「最後まで緊張感持って」（4日 19:00 前）



自民党東京都連の最高顧問を務める下村政務調査会長は、午後7時前、党本部に入る際、記者団に対し「投票箱のふたがしまるまで、しっかり緊張感を持ってやっていきたい」と述べました。

自民 二階幹事長 党本部に入る（4日 17:00 過ぎ）



自民党の二階幹事長は、午後5時すぎに党本部に入りました。また、山口選挙対策委員長や森山国会対策委員長らも午後6時までに党本部に入りました。

自民党は、二階氏や下村政務調査会長ら党幹部が午後7時から静岡県熱海市で土石流が発生したことを受けて、緊急に会議を開く予定です。

そして、会議のあとそのまま党本部で東京都議会議員選挙の開票状況を見守ることにしています。

## 都議選、水面下で駆け引き...“因縁の地”は

NNN2021年7月4日 21:31

任期満了に伴う東京都議会議員選挙の投票は、4日午後8時に締め切られました。今回の都議選は、4年間の小池都政に対する有権者の評価が問われるとともに、各党は「衆院選の前哨戦」と位置づけて総力で臨みました。どのような闘いだったのか、まとめました。

全文を読む

任期満了に伴う東京都議会議員選挙の投票は、4日午後8時に締め切られました。今回の都議選は、4年間の小池都政に対する有権者の評価が問われるとともに、各党は「衆院選の前哨戦」と位置づけて総力で臨みました。どのような闘いだったのか、まとめました。



選挙戦、最終日の3日、小池百合子都知事がサプライズで登場しました。まばらだった街頭演説の場に、ひとだけり。小池知事の激励に、都民ファーストの会の陣営は勢いづきました。

都民ファーストの会・村松一希候補「手を振ってくれたりとか、声をかけてきてくれる人が一気に増えた。4年前も（小池知事に）急に来てもらって一気に変わったという雰囲気はあった」

4年前の都議選で、都民ファーストの会を圧勝に導いた小池知事。今回も小池知事の動きが選挙戦を左右すると注目されていました。しかし、告示日の3日前に過度の疲労で入院。選挙応援についても語らないまま静養に入りました。



実は、この間、都議選への対応をめぐって水面下で自民党と激しい駆け引きがおこなわれていました。

—今回、自民公明が過半数をとれば小池知事は行き詰まる。（自民党議員）

—選挙後の都議会運営に協力する条件として、都民ファーストの候補だけを応援することはないよう伝えてある。（自民党関係者）

小池知事の動きを封じる“布石”をうっていた自民党。その自民党にとって、今回、負けられない闘いのひとつが千代田区です。1議席を自民党と都民ファーストの会が争う事実上の一騎打ちです。都民ファーストの会は女優・平愛梨さんの弟、平慶翔氏が立候補。応援にはこの人も.....

義理の兄・長友佑都選手「皆さんこんにちは。サッカーをやっています、長友佑都と申します。これ本当に家族だからとかじゃなくて、こんなに誠実で、実直で、人のために一生懸命行動ができる人はいません」

対する自民党は、元区議の内田直之候補。“都議会のドン”と呼ばれた内田茂氏の娘婿です。コロナ対策を担う西村大臣も、公務の合間をぬって応援にかけつけました。

西村経済再生担当相「この千代田区は東京のど真ん中。まさに自民・公明が推す、私たち与党の象徴的な候補であります」

実は、千代田区は4年前の都議選で小池知事が応援に入り、都民ファーストの会の樋口氏が当選。その樋口氏が今年1月に区長選に出馬した際も、小池知事が最終盤にサプライズで応援に入り、自民党が推す候補をやぶりました。

自民党にとっては小池知事に何度も“苦い思い”をさせられてきた“因縁の地”なのです。



先月29日、内田候補の事務所に、自民党・二階幹事長が自ら足を運び激励しました。この頃、自民党内からはこんな声も.....

—小池知事の静養は、ベストな策だった。二階さんにも顔を立てたし、同情も出ている。街頭もしないで済む。（自民党幹部）  
今回、小池知事は、動かないだろうとの見方が広がる中、選挙戦終盤の2日（金）、公務復帰後の会見で小池知事は.....

東京都・小池知事「どこかでばたっと倒れてるかもしれませんが、それも本望だと思ってやり抜いていきたい」

「倒れても本望」と繰り返し、コロナ対策に全力を傾け都民の命を守ると訴えました。

そして、その翌日、動いた小池知事。平候補と手をつなぎグータッチ。

都民ファーストの会・平慶翔候補「小池知事とともに千代田区から東京を前進させていく」

応援演説はしませんでした、候補者と並んで有権者の声援にこたえました。

都民ファーストの会によりますと、この日、16の選挙区をまわったという小池知事。最終盤の電撃訪問で存在感をアピールした形です。

### 台湾有事で集団的自衛権行使も 麻生氏

時事通信 2021年07月05日 18時14分



麻生太郎副総理兼財務相

麻生太郎副総理兼財務相は5日、東京都内で講演し、中国が台湾に侵攻した場合、安全保障関連法が定める「存立危機事態」に認定し、限定的な集団的自衛権を行使することもあり得るとの認識を示した。存立危機事態は、日本と密接な関係にある他国が攻撃され日本の存立が脅かされる明白な危険がある事態で、集団的自衛権を行使する際の要件の一つ。

麻生氏は「(台湾で)大きな問題が起きると、存立危機事態に関係してきても全くおかしくない。そうなると、日米で一緒に台湾を防衛しなければいけない」と述べた。

### 麻生氏、台湾有事で自衛権行使も 「日米で防衛しなければ」

2021/7/5 21:08 (JST)7/5 21:25 (JST)updated 共同通信社

麻生太郎副総理兼財務相は5日、東京都内で講演し、中国が台湾に侵攻した場合、集団的自衛権行使を可能とする安全保障関連法の「存立危機事態」として対処すべきだとの見解を示した。「台湾で大きな問題が起きれば、存立危機事態に関係すると言ってもおかしくない。日米で台湾を防衛しなければならない」と述べた。

沖縄選出の自民党議員の政治資金パーティーで講演。台北市でのデモや騒動に中国が軍隊を派遣して「中国の内政問題だ」と主張する有事シナリオを紹介した。その上で「次は沖縄。真剣に考えないといけない」と強調。「日本を防衛する力をきちっと準備しないといけない」とも訴えた。

### 台湾情勢で麻生氏「次はとなれば存立危機事態に関係も」

朝日新聞デジタル中田絢子 2021年7月5日 22時06分



麻生太郎副総理兼財務相=2020年11月

麻生太郎副総理兼財務相は5日、台湾海峡情勢をめぐり、「大きな問題が起き、日本にとって『次は』となれば、存立危機事態に関係してくるといってもおかしくない。日米で一緒に台湾の防衛をやらないといけない」と述べた。台湾有事を念頭に集団的自衛権を行使できる存立危機事態の認定につながる可能性を指摘

した形だ。

東京都内で開かれた自民党衆院議員の会合で講演し、語った。

存立危機事態は2015年に成立した安全保障法制で新たに規定。日本が直接攻撃は受けなくても、米国など「我が国と密接な関係にある他国」に対する武力攻撃が発生し、これによって「我が国の存立が脅かされる」「国民の生命や自由が根底から覆される」といった事態と判断し、一定の要件を満たせば、集団的自衛権を一部行使できる。

菅義偉首相は今年4月の民放の番組で、台湾有事が存立危機事態に当たる可能性があるかと問われ、「仮定のことに答えることは控えたい」と述べていた。

また、麻生氏は講演で、中国の台湾政策についても言及。「いきなり爆撃するとか、いまの時代はそんなもんじゃないから」と前置きしたうえで、「ストライキやデモが台北市内でわんわん起きて、総統府が占拠され、総統が逮捕拉致される」という想定を披露。そうした場合、中国が台湾側の要請を受けて、即座に鎮圧に乗り出すとの見方を示し、「『中国の内政問題だ』と言われたら、どう世界は対応するか。香港も同じようなことだったのではないか」と指摘した。(中田絢子)

### 中国が台湾侵攻なら麻生氏「日米で一緒に防衛」...限定的な集団的自衛権に言及

読売新聞 2021/07/05 21:29

麻生副総理兼財務相は5日、東京都内で講演し、中国が台湾に侵攻した場合、日本政府が安全保障関連法の定める「存立危機事態」と認定し、限定的な集団的自衛権を行使する可能性があるとの認識を示した。



麻生副総理

存立危機事態は、日本と密接な関係にある他国への武力攻撃が発生し、日本の存立が脅かされ、明白な危険がある事態と定義される。麻生氏は「(台湾で)大きな問題が起きると、存立危機事態に関係してくるといっても全くおかしくない。そうなると、日米で一緒に台湾の防衛をしなければならない」と述べた。「香港と同じことが台湾で起きないという保証はない」とも語り、危機感を示した。

### 台湾有事の集団的自衛権行使に言及 麻生副総理

日経新聞 2021年7月5日 21:46



講演する麻生副総理・財務相(5日、都内)

麻生太郎副総理・財務相は5日、中国が台湾に侵攻すれば安全保障関連法に基づく「存立危機事態」と認定し、集団的自衛権の限定的な行使もありうると言及した。都内の講演で語った。麻生氏は「(台湾で)大きな問題が起きると存立危機事態に関係

しても全くおかしくない。そうすると日米で一緒に台湾を防衛しなければならない」と指摘した。麻生氏は政府の国家安全保障会議（NSC）の4大臣会合のメンバーだ。

中国の習近平（シー・ジンピン）総書記（国家主席）が中国共産党創立100年の記念式典で台湾統一を「歴史的任務」と語ったことにも触れ「台湾の様相が極めて厳しいものになってきた」と述べた。

### “台湾有事は「存立危機事態」にあたる可能性” 麻生副総理

NHK2021年7月6日 1時13分



中国が台湾に侵攻した場合の対応について、麻生副総理兼財務大臣は、安全保障関連法で集団的自衛権を行使できる要件の「存立危機事態」にあたる可能性があるという認識を示しました。

麻生副総理兼財務大臣は5日、都内で講演し、中国が台湾への圧力を強めていることを踏まえ「台湾で騒動になり、アメリカ軍が来る前に中国が入ってきて、あっという間に鎮圧して『中国の内政問題だ』と言われたら、世界はどう対応するのか」と指摘しました。

そのうえで「台湾で大きな問題が起きると、間違いなく『存立危機事態』に関係してくるとしても全くおかしくない。日米で一緒に台湾を防衛しなければならない」と述べ、中国が台湾に侵攻した場合「存立危機事態」にあたる可能性があるという認識を示しました。

「存立危機事態」は安全保障関連法で、集団的自衛権を行使できる要件として「密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し日本の存立が脅かされ、国民の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」などと規定されています。

### 空自がフィリピンと訓練 初の2国間、首都近郊で

時事通信 2021年07月05日 16時27分



航空自衛隊のC130H輸送機

【マニラ時事】フィリピンの首都マニラ近郊で5日、空軍と日本の航空自衛隊が訓練を行った。両者が2国間で訓練するのは初めてで、在マニラ日本大使館は声明で「両国の防衛協力において重要な一里塚になる」と位置づけた。

訓練は8日までの4日間、マニラから北西約80キロのクラーク空軍基地で実施する。人道支援と災害救助に関する内容で、空自は戦術輸送機C130Hを使用。「孤立地域への物資投下」などが行われる。

領土をめぐる中国と対立する両国が新たな防衛協力へ踏み出したことは、南シナ海で覇権を強める中国へのけん制にもなる。

### 円滑化協定、年内最終合意に期待 日豪の防衛協力強化一山上

### 大使

時事通信 2021年07月05日 08時43分



山上信吾駐オーストラリア大使

【シドニー時事】山上信吾駐オーストラリア大使は5日付のオーストラリアン紙に掲載されたインタビュー記事で、自衛隊と豪軍が相互の国に滞在している間の法的地位などを規定する「円滑化協定」について、年内の最終合意に期待を表明した。

協定は日豪の防衛協力の強化を示し、海洋進出を強める中国をけん制する狙いがある。昨年11月の日豪首脳会談で大枠合意したが、豪州が廃止した死刑制度をめぐる調整が残っている。山上氏は、協定を通じて自衛隊が豪州を訪れる頻度が増えて滞在が長期化する一方、豪州側も日本での演習が増える予想。「不測の事態が起きれば緊密に協力する必要がある」として、日豪間で相互運用性を高めることが重要だと強調した。

### オスプレイ佐賀配備計画 地権者「賛否は時期尚早」 説明会終了

毎日新聞 2021/7/5 10:50（最終更新 7/5 16:12）



説明会の全日程を終え、記者団の質問に答える伊藤九州防衛局長（中央）

陸上自衛隊オスプレイ佐賀空港（佐賀市）配備計画を巡り、防衛省が6月30日から始めた県有明海漁協4支所の地権者向け説明会は4日、予備日を含め全日程を終えた。今後、漁協は計画の賛否や土地売却の意向を問うアンケートを実施する予定だが、地権者から「判断材料がない中、賛否を問うのは時期尚早」と批判が出ている。

説明会は非公開で計6回。予備日（4日）の16人を含め、参加者は4支所の地権者557人の約半数297人だった。伊藤哲也・九州防衛局長は「できる限りの説明はした。後は地権者の検討を待ちたい」と総括した。

質疑応答では、複数の地権者が米軍の将来的な常駐や漁業への影響を懸念し、同省に詳細な説明を求めた。だが「防衛省は『米軍の常駐はない』と言うだけで信用できない」（ノリ漁師の男性）と不安解消には至っていないのが実情だ。また、一部地権者に内示した土地買収額の上限（1平方メートル当たり4350円）を初日に撤回後、数字を示さなかったことに戸惑いが広がる。

漁協のアンケートに対し、複数の地権者が「賛否の判断材料がない」と疑義を呈す。伊藤局長は「防衛省はアンケートを手伝う立場」として「（参加できなかった人には）説明資料を送付する」と述べるにとどめた。

3日説明を受けた70代の元ノリ漁師は「今回の説明では何も納得できない。改めて説明会が必要」と訴える。伊藤局長は「今のところ予定はない」と話している。【竹林静、山口響】

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

## ウガンダ選手陽性 泉佐野市担当者が証言 空港1人陽性→濃厚接触判定なくバス8時間→到着後1人陽性 「国の手引で対応」 “五輪ありき” 選手・市民を危険に

東京五輪・パラリンピックで来日したウガンダ選手団から新型コロナウイルスの陽性者が確認された問題で、政府の対応が問われています。受け入れ業務にあたったため濃厚接触者と判定された受け入れ自治体の担当者が5日までに本紙の取材に応じ、「市の対応は国の手引に沿ったものだった」と証言しました。(山本真直)



(写真) 泉佐野市役所＝1日

証言したのは、事前合宿受け入れで成田空港から大阪府泉佐野市まで引率し、選手団を支援した担当者です。

### 濃厚接触15人に

ウガンダ選手団は空港検査で1人の陽性が確認された後、濃厚接触者の判定がされないままバスで約8時間かけて泉佐野市に移動。到着後、さらに1人の陽性者が確認され、選手と市職員も含めてバス運転手ら15人が濃厚接触者と判定されています。

この経過について、東京五輪組織委員会の幹部は報道番組で「8時間のバス移動は想定外」と発言しましたが…。

担当者によると、選手団は当初、関西国際空港に到着が予定されていました。コロナの影響で便がなくなり、急きょ成田空港に変更されました。担当者は「やむなくトイレ付きの貸し切り大型バスで移動した。選手は途中一度もサービスエリアなどで下車していない。成田空港には内閣官房の担当者も複数、姿を見せていた」と証言し、こう続けます。

「接触うんぬんと言われるが、選手を放っておけない。ハグはもちろん飲食を共にしたこともなく、接近するときは双方がしっかりとマスクもして対応している。いずれも国の手引通りで、市の対応に瑕疵(かし)はなかった」

内閣官房が作成した受け入れ自治体向けの手引では、濃厚接触者の特定は、受け入れする都道府県などの保健所が担当することになっています。泉佐野市はこの手引に従った、というのです。

政府の計画があいまいだったため、結果的に選手や市職員らに大きな負担をかけることとなりました。「選手の貴重な練習時間を奪い、申し訳ない。家族にも気を使わせすまないと思う」とこの担当者は語ります。

### 政府の謝罪なし

他方、政府からは泉佐野市への公式な謝罪、説明はないと言います。

市役所を訪れた弁当業者の男性(76)は、「政府の五輪ありきの、ずさんな水際対策の犠牲で、職員らがつらい目に遭っている。イギリスではサッカーの試合観戦で感染者が急増している。五輪は中止せなあかん」と話しました。

日本共産党の高道一郎市議は「今回の問題は、入国後に14日

間待機するという規定を緩和し、五輪選手を特別扱いしたことで起きた。『命よりも五輪』という政府の構えが生み出したものだ。選手や市民を危険にさらす五輪は中止すべきだ」と力を込めました。

## 社説 東京都議選 菅政権への厳しい審判

朝日新聞 2021年7月6日 5時00分



東京都議選の結果を受け、取材に応じる菅義偉

首相＝2021年7月5日、首相官邸、上田幸一撮影

おとといの東京都議選で、前回歴史的な大敗を喫した自民党は、辛うじて都議会第1党の座を取り戻したが、公明党と合わせて過半数という目標には届かなかった。感染が再拡大している新型コロナ対策や目前に迫る東京五輪への対応など、菅首相の政権運営に対する都民の厳しい審判とみるべきだ。

4年前、小池百合子都知事の全面支援で旋風を起こした地域政党「都民ファーストの会」の退潮を見越し、大幅な勢力回復を当て込んだ自民党の目算ははずれた。33議席は、直後の衆院選で政権を失った09年の麻生政権下での38議席に及ばない。事実上の敗北といってもいい。

首相はきのう、選挙結果を「謙虚に受け止める」と語ったが、うわべだけの言葉では信は得られないと、心すべきだ。

与党内では、ワクチン接種をめぐる混乱が「逆風」になったとの見方が広がる。

加速化の旗をふる首相の下、幅広く職域接種を呼びかけたが、ワクチンの供給不足で休止に追い込まれた。はしごをはずされた形の関係者の間に、戸惑いや不満が広がるのは当然である。政府の準備や説明は十分だったか、反省が必要だ。

東京五輪についても、「開催ありき」で突き進む政権と都民の意識の乖離(かいり)は大きかった。

朝日新聞が告示後に都民を対象に行った世論調査では、延期・中止が6割、開催する場合も無観客が6割超を占めた。首相が繰り返す「安全安心な五輪」に、足元の都民が信を置いていないことは明らかだ。「無観客」での開催を公約に掲げた都民ファが自民に迫る第2党となり、「中止」を強く訴えた共産党が議席を積み増したことを重く受け止めねばならない。

首相は告示日に党本部前で第一声をあげただけで、街頭演説は一度も行わなかった。コロナ禍で人が集まる「密」を避けたという言い分はわからぬでもないが、この機会に自らの政策を国民に直接訴えたいという意欲は感じられなかった。

有権者数が多く、無党派層の割合も高い都議選はこれまで、その後控える国政選挙の結果を先取りするケースが多かった。各党が今回、秋までにある衆院選の前哨戦と位置づけて力を入れたのもそのためだ。

立憲民主党は、ほぼ倍増したとはいえ、もともとの議席が1桁だった。民意を引き寄せせる力強さに欠け、政権批判の受け皿としては都民ファが勝った。野党共闘については、定数1～2人の選挙区を中心に、立憲、共産両党が候補者をすみ分けし、一定の成果につながった。選挙区ごとに検証を進め、衆院選に向けた教訓

とすべきだ。

## 社説 勝者なき都議選 有権者の批判どう受け止める

読売新聞 2021/07/06 05:00

どの政党も有権者からの積極的な支持を得られず、勝者のいない選挙だったと言えよう。与野党ともに、強い危機感を持つ必要がある。

自民党は東京都議選で、33議席にとどまった。過去最少だった前回の23議席に次ぐ苦戦である。第1党は奪還したものの、公明党と合わせて過半数を確保するという目標に及ばなかった。

小池百合子知事が創設した地域政党・都民ファーストの会も議席を減らし、第2党に転落した。立憲民主党は共産党を下回った。

過去2番目という投票率の低さは、各党の政策論争が低調だったことの反映だろう。

菅首相は、「自公で過半数を実現できなかったことは、謙虚に受け止めたい」と語った。

選挙戦の序盤では、自民党が優勢という見方も出ていた。だが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加に転じる中でワクチン供給が遅れ、東京五輪・パラリンピック開催にも不安が広がった。これらが逆風となった形だ。

政治とカネをめぐる不祥事や、公文書改ざん問題などに適切に

おご

対処しなかったことが、底流にある。「自民1強」の驕り

しんし

に、有権者が強い不満を抱いていることを真摯に反省すべきだ。

無党派層が勝敗のカギを握る都議選は、近年、国政選挙の先行指標ともなってきた。今回、都民ファーストを支持した無党派層の動向は、秋までに行われる衆院選の行方に影響を与えるだろう。

首相は、全敗だった4月の衆参3選挙に続く都議選の不振により、求心力が低下しかねない。解散・総選挙に向けて、一層厳しい政権運営を迫られる。

国民の信頼を回復するには、ワクチン接種の加速や安全な五輪の開催に指導力を発揮し、目に見える成果を示すことが重要だ。

立民は、政権批判票の最大の受け皿になれず、国政の野党第1党としては物足りない結果だった。出口調査によると、無党派層の16%しか取り込んでいない。強固な組織を持たない立民にとって、支持に広がりがないのは深刻だ。

立民は今回、共産党と候補者調整を行った。衆院選での野党共闘につながる狙いがあるが、支持団体の連合は反発している。

政権選択選挙である衆院選で連携するのなら、憲法や外交・安全保障など基本政策の違いをおおざなりにしてはなるまい。

野党は、有権者にとって現実的な選択肢となるよう、理念と具体的な政策を示してもらいたい。

## 社説 都議選で自民振るわず 政権不信の民意示された

### 注目の連載

毎日新聞 2021/7/6 東京朝刊

菅義偉政権の新型コロナウイルス対策の迷走と、東京オリンピック・パラリンピック開催ありきの姿勢に、東京都民の不満と不信が示された形だ。

4日の都議選で、国政与党の自民、公明両党は合わせても過半数に届かなかった。特に自民は僅差で第1党に復帰したものの、当選したのは候補者の約半数にとどまった。獲得議席は過去2番目に少なかった。

自公は世論の反発が強い五輪問題を公約に盛り込まず、争点化を避けた。首相はワクチン接種を迅速に進めるとアピールし、観客を入れての開催に固執してきた。

しかし「安全・安心な大会を実現する」と繰り返すだけで、国民の不安に応えようとしない態度に厳しい民意が突きつけられた。ワクチン供給を巡る混乱も響いた。

感染が再拡大する中、公明党の山口那津男代表でさえ選挙戦終盤には、無観客も視野に入れるべきだと主張したほどだった。

一方で、五輪の中止を訴えた共産党と、延期か中止を主張した立憲民主党が議席数を伸ばしたのは対照的だ。両党を合わせると自民にほぼ並ぶ。

小池百合子知事が創設した地域政党「都民ファーストの会」は「最低でも無観客」を訴えた。前回より議席を減らしたが、無党派層から一定の支持を集めた。

有観客での開催を目指す政府方針に反対する勢力が、都議会で過半数を占めたことになる。

小池氏は前回、都議会自民党との対立軸を鮮明にして都民フを圧勝に導いた。だが、今回は告示前に入院したこともあり、最終盤まで表立って動かなかった。開催都市の知事でありながら、五輪を巡る政府方針と距離を置いた。

政府と都は、五輪対応や感染防止策で連携する立場にある。にもかかわらず、この1年間、首相と小池氏で責任を押し付け合う場面が目立った。両者は都議選で示された民意に向き合うべきだ。

菅政権は国政、地方選挙で敗北が続いている。とりわけ都議選は国政選挙の先行指標とされ、秋までに行われる衆院選への影響は大きい。

首相は結果を重く受け止め、五輪やコロナへの対応で独善的な姿勢を改めなければならない。

## 社説 政権は都議選の民意を重く受け止めよ

日経新聞 2021年7月5日 0:51 [有料会員限定]

国政を占うと注目された東京都議選は、自民党の苦戦が目立つ結果となった。菅政権の新型コロナウイルスや東京五輪の対応への根強い不満を浮き彫りにした形だ。秋に想定される衆院選に向け、有権者の厳しい声を重く受け止めなければなるまい。



東京都議選の開票が進む中、記者団の質問に答える都民ファーストの会の荒木千陽代表(右)とテレビ局の中継インタビューに答える自民党の鴨下一郎都連会長(4日夜、東京都内)＝共同

自民党は都民ファーストの会に代わって都議会第1党に復帰した。しかし獲得議席は伸び悩み、公明党とあわせて過半数を確保する目標には届かなかった。

有権者の批判は、政権と都政の双方に向けられたと考えるべきだろう。コロナ対応では政府と東京都の呼吸が合わず、感染抑止や

迅速な事業者支援などの妨げになる場面が少なくない。都議選の結果は、政権と都政が同じ枠組みで連携して対処することを求めたといえる。菅義偉首相と小池百合子知事は都民の不満の声に耳を傾け、コロナ対応での連携をさらに強化すべきだ。コロナ禍の選挙戦は盛り上がりを欠き、投票率は50%を割った。前回は都民フを率いて前面に立った小池知事が今回はどの勢力を支持するか、なかなか明確にしなかったことも一因だ。争点や対立軸がぼやけたのは残念である。

その結果、政権批判票もばらけ、各党が分け合う形になった。議席を大きく減らすと予想された都民フが踏ん張ったのは、五輪の無観客開催を求めるなど都民の懸念を代弁し、政権批判票の一部を取り込んだためだろう。

立憲民主党と共産党による選挙区のみ分けは、政権批判票の受け皿として一定の効果を示した。政権選択となる衆院選でこうした対応をどこまで徹底できるかが問われることになる。

自公両党は選挙戦でワクチン接種の着実な推進を訴えた。ワクチンが普及し、コロナ前の暮らしを取り戻せるとの期待が追い風になるとみられた。

しかし、それだけで政権の座が安泰になるほど甘くはない。ここに来てワクチンの安定供給への懸念が生じたのも響いたとみられ、戦略見直しを迫られよう。

コロナ禍で行政デジタル化や規制改革などの課題が顕在化した。改革の遅れを取り戻す努力はまだ緒に就いたばかりだ。脱炭素社会への取り組みも、原発などの扱いで道筋をつけられずにいる。コロナ後の展望をひらくこうした諸課題を前に進めなければ、衆院選も苦戦は避けられまい。

## 社説 東京都議選 五輪強行への批判だ

東京新聞 2021年7月5日 06時32分

四日投票の東京都議選で、自民、公明両党は合わせて過半数に届かなかった。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染対策が迷走し、観客を入れて五輪・パラリンピックを開催する方針を示してきた菅義偉政権への批判の表れだ。政府は「安全安心」を第一に、これまでの方針を早急に転換し、感染収束に向けて改めて知恵を絞らねばならない。

大会を巡って、都民ファーストの会は「最低でも無観客」と訴えてきた。共産党は「中止」、立憲民主党は「中止か延期」を主張した。これに対し、自民は第一党復帰を目指し、公明と合わせて過半数を目標にしていた。

菅政権は六月、大会会場の観客数の上限を一万人とし、「無観客が望ましい」とした専門家の提言に反する決定をした。都では今月十一日、まん延防止等重点措置の期限を迎えるものの、感染拡大の傾向が明確になり、重点措置の解除は難しい状況だ。

菅政権の見通しの悪さ、安全安心よりも大会を優先しようとする姿勢が、都民の批判につながるとみられる。今秋までに行われる次期衆院選でも、自公両党は厳しい戦いを避けられない情勢だ。

コロナ禍の一年半、大会を巡る都議会の対応が鈍かったことは、改めて指摘したい。東京は大会の開催都市である。小池百合子知事は一貫して、国や国際オリンピック委員会（IOC）の開催方針と歩調をそろえてきた。

都議会がより早い段階で、一体となって異議申し立てができなかったのか。都民ファが党の「生みの親」である小池氏に無観客などを働き掛けることはできなかったか。住民の声を反映すべき議会の存在意義が問われる事態だ。

地方自治体は二元代表制で、議会は知事ら首長と対等の立場から行政を監視する。だが、知事の立場を付度（そんたく）したり、与党化に走ったりするようでは、チェック機能に疑問符が付く。

行政との水面下の調整で物事が決まる政策決定プロセスは、外部からの検証が難しい。都政の一層の透明化が必要だ。

東京は人口減少局面に入り、高齢化も深刻になる。貧困や格差の是正、首都直下地震への備えと、課題は山積している。約千四百万人の生命と暮らし、年間約十五兆円の財政を左右する責任を、各議員が自覚せねばならない。

しんぶん赤旗 2021年7月6日(火)

## 主張 都議選の審判 「五輪は中止」の声受け止めよ

東京都議選で日本共産党は現有18議席を確保し19議席に前進しました。引き続き野党第1党です。2013年、17年の躍進に続く大きな勝利です。大激戦のなか、ご支持、ご支援いただいたみなさんに心から感謝申し上げます。

五輪中止を正面から掲げた共産党と「中止か延期」を主張した立憲民主党が前進したことは、このまま開催すべきでないという民意の強い表明です。菅義偉政権は都民の意思を重く受け止めるべきです。

共感集めた共産党の訴え

自民党、公明党は、目標だった両党合わせて過半数の64議席に届きませんでした。17年の選挙で史上最低の議席に落ち込んだ自民党は、大幅な上積みを狙ったものの、過去2番目に少ない33議席にとどまりました。13年は自民党が42の全選挙区で議席を得ましたが、今回は15の区で空白となりました。定数4の品川区でも議席をとれませんでした。

この結果をもたらしたのは、コロナ対策で無為無策を続け、感染を抑え込めていないにもかかわらず五輪開催に突き進む菅政権に対する都民の強い怒りです。

共産党は五輪を中止し、コロナ収束にあらゆる力を集中すべきだと訴え、国民の命を守る論陣を張って都民の共感を集めました。読売新聞の出口調査では、五輪開催の方針について「評価しない」が51%です。そう答えた人たちの投票先で第1党は共産党でした。

菅政権はワクチン接種で大きく立ち遅れ、中小業者に対する補償でも持続化給付金、家賃支援給付金の再支給を拒むなど、背を向け続けています。世論調査では政府のコロナ対策を評価しないという声が多数を占めています。五輪中止をただちに決断し、コロナ対策に集中する政治に転換すべきです。

自民党の事実上の敗北は、沖縄県での米軍新基地建設や日本学術会議の人事への介入など、菅内閣の強権体質に対する批判や、自民党の「政治とカネ」の問題も強く反映した結果です。4人の自民党国会議員が辞職しながら誰一人として有権者に説明せず、菅首相も解明に動かない姿勢は国民の怒りを買うばかりです。

小池百合子都政のもとで進められる都立・公社病院の独立行政法人化、羽田空港の危険な新ルート、外環道建設、カジノ誘致に

反対する共産党に期待が寄せられました。小池知事を支える都民ファーストの会は議席を減らし第2党に後退しました。

「ケアに手厚い東京」「大企業のもうけ第一から福祉と暮らし第一の東京へ」などの共産党の公約は都民の切実な願いです。この力を総選挙勝利に

党派を超えた幅広い人たちの支持を得て文京区と日野市の二つの2人区で共産党は新たに議席を獲得しました。共産党と立憲民主党が行った候補者調整は重要な成果をあげました。共産党の候補者に一本化した5選挙区、立民などの候補者に一本化した7選挙区で勝利しました。野党の協力は相互に当選を積み増すことで、自民党を追い詰めました。

都議選の成果を来たる総選挙につなげることが国政を変える大きな力となります。市民と野党の共闘を成功させ、政権交代、野党連合政権を実現しましょう。

### 社説 都議選自民不振 政権は批判受け止めよ

北海道新聞 07/06 05:05

次期衆院選の前哨戦と位置づけられた東京都議選は、自民党が第1党に返り咲いた。ただ、獲得議席数は過去2番目に少なく、国政で野党に転落する直前に行われた2009年も下回った。

選挙協力した公明党と合わせて目標とした過半数にも届かなかった。事実上の敗北だったとの自民党内の受け止めは当然だろう。

有権者が特に重視した政策は新型コロナ対策と東京五輪・パラリンピックへの対応だった。

東京で感染が再拡大する中、菅義偉政権はワクチン接種の供給不足に陥るなど迷走した。五輪も観客入りで開催する方針を示してきたが「安全・安心」の根拠を十分に説明していない。

選挙戦で自民党は五輪開催方針を支持しつつも公約に盛り込まず、積極的に論じなかった。

こうした姿勢に不満が高まり、政権批判が結果に表れた。首相は「期間を置いてしっかり分析して次に備えたい」と語ったが、危機感が乏しいと言わざるを得ない。

菅政権は4月の衆参3選挙で不戦敗も含めて全敗した。厳しい声に真摯（しんし）に耳を傾ける必要がある。

飲食店への休業要請に伴う協力金の支給が遅れ気味のコロナ対策も、議論は深まらなかった。

都連元幹部だった菅原一秀前経済産業相が公民権停止3年の略式命令を受けた。総務省の接待問題などの不祥事も相次いでいる。

政治とカネの問題を含め、対応をうやむやにしていれば、秋までに実施される衆院選でさらなる厳しい審判が下されよう。

小池百合子都知事が創設し前回躍進した都民ファーストの会は、議席を減らし第2党になった。

五輪に関し「最低でも無観客」と訴え、自民党との違いを明確にしたが、前回ほど都政改革への期待を集めることはできなかった。

今回、史上2番目の低投票率だったのは、その表れでもあろう。小池氏は過度の疲労で入院したこともあり、最終日まで表だって支援することはなく、都政与党との関係を明らかにしなかった。

これでは自身の立場について説明責任を果たしたとは言えない。

立憲民主党と共産党は議席を上積みした。衆院選での野党共闘をにらみ、一部の選挙区で候補者をすみ分けて臨んだことで、一定の成果を上げたのは確かだろう。

ただ、立憲は政権批判票の受け皿に十分になり得たとは言いがたい。衆院選に向けて候補者調整を急ぎ、与党との明確な対立軸を打ち出すことが欠かせない。

### 社説 東京都議選と各政党／民意と捉えて衆院選に臨め

河北新報社 2021/07/06 10:09

衆院選の前哨戦とも目された東京都議選の結果は、有権者の国政に対する評価を一定程度反映していると言える。各党はどう民意を受け止め、衆院選に臨むのか。時間が限られる中、選挙戦略の練り直しなど難しい対応を迫られることになりそうだ。

自民党にとっては厳しい結果となった。公明党と選挙協力を結び、現有の25議席から8議席増やして33議席を獲得。都議会第1党に返り咲いたものの、両党合わせて56議席にとどまり、目標の過半数（64）に届かなかった。

伸び悩んだ要因として、新型コロナウイルス感染対策や東京五輪・パラリンピックを巡る菅義偉政権の対応への不満を挙げることができる。

都内では感染が再拡大しつつあり、11日が期限のまん延防止等重点措置の延長は避けられない状況だ。菅首相が政権浮揚の「切り札」とするワクチン接種も、自治体や企業・大学の希望通りの供給が見込めないなど、ここに来て急ブレーキがかかっている。

東京五輪で菅首相は観客を入れての開催にこだわり、前のめりとも言える姿勢を見せてきた。だが、感染の「第5波」の到来が現実味を帯びる中、菅首相が言う「安全、安心な大会」の根拠が揺らいでいることへの不安は大きい。

自公が選挙戦で五輪の問題を避けた一方で、「無観客」を掲げた都民ファーストの会が議席減を一定程度に食い止めたほか、「中止」を主張した共産党、「中止か延期」を公約にした立憲民主党は議席を増やした。五輪に対する有権者の微妙な心理が投票行動に影響を与えたとみることではできよう。

菅首相は都議選で大勝し、五輪を成功させた上で衆院を解散、総選挙に臨む目算だった。前提の一つが崩れたことになる。

都議選の結果を受け、菅首相は「冷静にしっかり分析して次に備えたい」と述べた。政権内では「9月前半解散—10月投開票」が有力視されていたが、コロナの感染状況や五輪に対する世論の動向、ワクチン接種の進捗状況によっては、首相の解散戦略に狂いが生じることになる。

野党では、共産が19議席、立民が15議席で、現有議席を上回った。1、2人区を中心に候補者を「すみ分け」したことなども奏功した。

共産の志位和夫委員長は「共闘が進んだ。総選挙につなげたい」と選挙協力の協議を加速させたい考えだ。だが、立民の支持母体である連合は反発しており、国民民主党も反共産の立場。立民にとっては、野党共闘実現に向けて難しいかじ取りが続くことになる。

都民ファーストは一定の勢力を維持した。今回、この地域政党が獲得した約103万票を、各党は衆院選でどう取り込むのか。

民意を読み解き、公約づくりに生かすことが急務となる。

## 社説 都議選自民苦戦 感染対策と五輪の批判だ

信濃毎日新聞 2021/07/06 09:14

新型コロナウイルス対策と東京五輪に対する有権者の批判が表れたといえる。

4日に投開票された東京都議選の結果である。自民党と公明党の獲得議席数は、勝敗ラインとされた過半数に届かなかった。

小池百合子知事が特別顧問を務める地域政党の「都民ファーストの会」も議席を後退させている。

一方でコロナ対策や五輪で政府や都に対抗姿勢をとる立憲民主党と共産党は堅調だった。

都内では新型コロナの新規感染者数が増加傾向で、「第5波」への懸念が強まっている。それなのに政府の対策は、ちぐはぐだ。

ワクチン接種を「切り札」と訴えながら、職場接種の新規受け付けを停止した。再拡大の懸念があるのに東京五輪の開催方針を見直さず、無観客の必要性を訴える専門家の警告を無視した形で「上限1万人」を決めた。海外選手が入国時に新型コロナ陽性となった場合の対応も混乱した。

出口調査では自民は無党派層の14・5%しか得票できていない。国民の生命と健康より五輪が優先されているのではないかと、という批判が逆風になったとみる必要がある。菅義偉首相は重く受け止めなければならない。

都議選の最大の焦点は、第5波や五輪への対応だったはずだ。それなのに論戦はかみ合わなかった。自公が東京五輪にまぼ触れず、争点化を回避する戦略をとったからである。

国民が関心を持つ事柄に対して政党が対応を明らかにしなければ、有権者が政策を比較して、選択する機会を奪う。政権与党として無責任だ。

立民と共産は1人区や2人区を中心に候補者をすみ分けるなど連携を強化した。共産は1議席増の19議席、立民は8議席増の15議席を獲得し一定の効果は示した。ただ、2党合わせても自公には遠く及ばない。力不足は明らかだ。

投票率は42・39%で、1997年7月に次いで過去2番目の低さだった。国政や都政に対する批判票の受け皿が少なかったことも一因ではないか。

今回の都議選は明白な勝者がいないといえる。小池知事は今後、どこに軸足を置いて都政を運営するのか不透明になった。突出した巨大都市が混乱すれば、コロナ対策や五輪対応だけでなく、地方や日本の将来にも大きく影響する。

都議会は「都の利害」を超えた視点で政策議論を交わし、知事や政府に積極的に提言していくことが役割だと肝に銘じてほしい。

## 社説 都議選自民苦戦 菅政権への不信表明だ

徳島新聞 2021年7月6日 5:00

東京都議選(定数127)は、衆院選の「風」を占う選挙である。結果は予想外の自民大苦戦。菅政権への逆風が吹き付けた。

当選33人は、政権交代のうねりで大敗北を喫した2009年選挙の38人を下回る。42%の低投票率に救われたものの、公明との選挙協力がなければ、前回レベルの惨敗になっていた。

原因は、政府が主導する新型コロナ感染防止対策や東京五輪開

催問題での不信感だ。政権には、有権者の「なぜ」に向き合う姿勢と努力が欠けていた。

五輪とパラリンピックが終われば、衆院選は目前となる。政権のカードは、ワクチン接種の進捗(しんちやく)と五輪の盛り上がりである。果たして、有権者の不信を拭い去る切り札になるのだろうか。解散時期を含め、厳しい政権運営を迫られる。

共同通信の出口調査によると、選挙戦の鍵を握る無党派層は、4分の1が都民ファーストの会に投票。次いで共産、立憲民主と続き、自民は4番手に沈んだ。

五輪について「無観客」(都民ファ)「中止」(共産)「中止か延期」(立民)を公約に掲げた政党が、無党派層の受け皿になった。休養明けの小池百合子都知事が「無観客も軸」としたことも、都民ファの訴えと呼応し、善戦への流れをつくった。

自民は五輪に関して公約に掲げず、だんまりを決め込んだ。「ワクチン接種に全力」「命を守る」をキャッチフレーズに、ワクチン接種のスピード感を強調することで、選挙戦を乗り切ろうとした。

しかし、選挙戦のさなか、ワクチンの供給難が判明。職場接種の申請受け付けを停止、自治体接種分の供給も先行き不透明となる。ワクチン一辺倒の戦いが裏目に出る展開となった。

なぜ、堂々と五輪を公約に掲げなかったのだろうか。感染拡大を恐れる都民にとって、選挙直後に始まる五輪やパラリンピックは、極めて関心の高いテーマである。

重要課題をあえて争点にせず、候補自身の考えも明らかにしない。これでは、不信が増幅するのは当然だ。何より、有権者に対し不誠実ではないか。共闘する公明が五輪憲章を盾に争点から外したのも、逃げ口上にしか聞こえなかった。

小選挙区制の下、自公の選挙協力が続く限り、野党が候補を一本化し、一騎打ちの構図にするしか、政治を変える道筋は見えない。

都議選では、無党派の受け皿は都民ファが担ったが、衆院選にその選択肢はない。立民と共産の選挙協力は、都議選でも成果を生んだ。野党各党は、自公に対抗し得る受け皿づくりを早急に模索すべきだ。

## 社説 東京都議選 自民党に政権不信の逆風

西日本新聞 2021/7/6 6:00

第1党の座を奪い返したとはいえ、伸び悩みは歴然としており、勝利と呼ぶには程遠い。自民党は自らに吹く民意の逆風を重く受け止めるべきだ。

東京都議選(定数127)で自民党は大敗した前回より10議席多い33人が当選したものの、選挙協力した公明党と合わせて過半数という目標には届かなかった。公明は擁立した23人全員が当選しているので、自民の結果が大きく響いた。

自民の獲得議席数それ自体が過去2番目の少なさで、翌月の衆院選で下野した2009年都議選を5議席下回った。苦戦が予想された都民ファーストの会にも2議席差と迫られた。

自公で過半数という目標について自民党内には楽観ムードさえあった。伸び悩んだ主な要因は無党派層の支持に広がりや欠いたことだろう。報道各社の出口調査では、無党派が最も支持したのは都民ファーストで、自民は共産党や立憲民主党にも後れを取

った。

新型コロナ禍での選挙戦は盛り上がりを欠き、投票率は過去2番目に低い。低投票率ならば優位とされる自民だが、今回は組織力も生かせなかった。

コロナ対策の緊急事態宣言は告示直前に解除されたが、選挙中に感染再拡大が鮮明となり、ワクチンの職域接種の急ぎよ中止や自治体向け供給の滞りといった混乱も重なった。

こうした状況が、政権のコロナ対策を批判し、東京五輪の無観客開催や中止を訴えた都民ファーストや共産、立民の追い風となったのは否定できない。

今回の都議選は、秋までに行われる次期衆院選を占う試金石として注目された。

自民は4月の国政3選挙で不戦敗を含め全敗し、北九州市議選などの大型地方選挙でも敗北が続く。間もなく五輪を開こうという首都で、想像以上の逆風を浴びた痛手は大きい。菅義偉首相にとっては、場当たりのコロナ対策を改め、ワクチン接種を順調に進めて国民の不安解消に努めるしかないだろう。

一方、立民と共産にとっては衆院選での選挙協力の予行演習でもあり、多くの選挙区で候補者をすみ分けた。立民は現有から倍増の15議席を得たが、都民ファーストに大きく及ばず、政権批判の受け皿とは必ずしもならなかった。共産も前回と同数の19議席で、他の国政野党は0~1議席に終わった。

過労を理由に入院していた小池百合子都知事は選挙戦最終盤に退院し、自身が創設した都民ファーストの応援に入り存在感を示した。国政復帰の観測が絶えないだけに今後の波乱要因となる可能性もある。各党の衆院選戦略も見直しを迫られよう

## 論説（「政界地獄耳」） 都議選後の戦略を決定づけたのは、世論の小池への支持

日刊スポーツ2021年7月5日配信★都知事・小池百合子は特別顧問を務める都民ファーストの会劣勢が伝えられる中、過度の疲労のため先月22日から都内の病院に入院して静養していたが、入院から9日目となる30日朝、退院した。テレワークで仕事するとしていたが、2日には弱々しい声で会見を開いた。終盤には候補者の応援にも入った。多くが都議選戦略の一つとして過労・入院という選択をしたとみたようだが、小池の政治活動のスタイルや経緯から、ここで病院に逃げたりはしない。それでは自民党の普通の議員と同じではないか。小池はあるデータを待っていたのだ。

★6月26、27両日に朝日新聞が実施した東京都民を対象にした世論調査では、小池の支持率は57%で、昨年3月の前回調査(50%)よりも上がった。同時期の読売新聞の調査でも小池の支持率は59%で、前回調査(5月下旬)の57%からほぼ横ばいだった。都民ファーストの劣勢は多くのメディアが伝えたが、小池は自らの支持率の数字を待っていたのだ。そして十分都民の支持があることを確認して退院したのではないか。小池のコロナ対応の無策や五輪開催への前のめり批判の記事ばかりが目に入るが、世論調査の小池の評価はいまだ首相・菅義偉のそれよりもずっと高いことで、自分の政治活動の方向性に間違いがないことが確認され、その小池が率いる都民ファーストは都民にある程度評価されると分析したのではないか。

★また、今後の議会では自民・公明によって小池包囲網が敷かれるとの分析も覆るだろう。選挙前はその見方も理解できたが、選挙中、共産党の躍進や立憲民主党の勢力拡大が伝えられると、自民、公明、都ファ対共産・立憲の構図が出来上がった。小池はこれを利用して議会与党を構成していこう。都議選後の戦略を決定づけたのは入院ではなく、世論の小池への支持だ。